ONKYO®

ネットワークオーディオレシーバー

NC-500X

取扱説明書

お買い上げいただきまして、ありがとうございます。
ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られる所に保証書、オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内とともに大切に保管してください。

目次

ご使用になる前に

接　続

基本操作

目次

LAN接続をして音楽を楽しむ

LANの接続

ネットワークの設定（Ethernet Settings）

パソコン（Net-Tune®サーバー）に保存された音楽を楽しむ

インターネットラジオを楽しむ

付属のCD-ROMを使う

Net-Tune® Centralをインストールする

Net-Tune® Centralを使いこなす

いろいろな機能を使う

アラーム（タイマー）機能を使う

その他の設定

その他

困ったときは

オーディオ機器の正しい使いかた

オーディオ機器を安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずお読みください

絵表示について

この「取扱説明書」および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中や近傍に具体的な指示内容（左上図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

⚠警告

■ 故障したままの使用はしない

電源プラグをコンセントから抜いてください

● 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本機の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理を依頼してください。

■ 絶対に裏ぶた、カバーは外さない、改造しない

分解禁止

● 本機の裏ぶた、カバーは絶対にはずさないでください。
内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店に依頼してください。

● 本機を分解、改造しないでください。火災・感電の原因となります。

■ 100V以外の電圧で使用しない

● 本機を使用できるのは日本国内のみです。

● 表示された電源電圧（交流100ボルト）以外の電圧や船舶などの直流（DC）電源には絶対に接続しないでください。火災・感電の原因となります。

■ 放熱を妨げない

● 本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。本機には内部の温度上昇を防ぐため、ケースの上部や底部などに通風孔があけてあります。
次の点に気を付けてご使用ください。

- 本機を逆さまや横倒しにして使用しないでください。

- 本機を、専用ラック以外の押し入れや本箱など風通しの悪い狭い所に押し込んで使用しないでください。
- テーブルクロスをかけたり、じゅうたん、布団の上に置いて使用しないでください。
- 本機を設置する場合は、壁から10cm以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は、少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面から2cm以上、背面から10cm以上のすきまをあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となります。

■ 水のかかるところに置かない

水場での使用禁止

● 風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

水ぬれ禁止

● 本機は屋内専用に設計されています。ぬらさないようにご注意ください。内部に水が入ると、火災・感電の原因となります。

⚠警告

■ 水の入った容器を置かない

● 本機の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれて中に入った場合、火災・感電の原因となります。

■ 中に物を入れない

● 本機の通風孔に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

■ 中に水や異物が入ったら

電源プラグをコンセントから抜いてください

● 万一、本機の内部に水や異物が入った場合は、すぐに本機の電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

■ 電源コードを傷つけたり、加工しない

● 電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

● 電源コードの上に重いものを載せたり、コードが本機の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがありますので、ご注意ください。

● 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して火災・感電の原因となります。

■ 落としたり、破損した状態で使用しない

電源プラグをコンセントから抜いてください

● 万一、誤って本機を落とした場合や、キャビネットを破損した場合には、そのまま使用しないでください。火災・感電の原因となります。電源コードをコンセントから抜き、必ず販売店にご相談ください。

■ 雷が鳴りだしたら機器に触れない

接触禁止

● 雷が鳴りだしたら、アンテナ線や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

■ 乾電池を充電しない

● 乾電池は充電しないでください。電池の破裂や液もれにより火災・けがの原因となります。

⚠注意

■ 設置上の注意

- 強度の足りない台やぐらついたり、傾いたりした所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。
- 本機の上に他のオーディオ機器を乗せたまま移動しないでください。倒れたり落下して、けがの原因となることがあります。
- 本機の上に10kg以上の重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

■ 次のような場所に置かない

- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

■ 接続について

- 本機を他のオーディオ機器やテレビなどの機器に接続する場合は、それぞれの機器の取扱説明書をよく読み、電源スイッチを切り、説明に従って接続してください。また接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したりコードを延長したりすると、発熱し、やけどの原因となることがあります。

■ 使用上の注意

- 電源を切る前に音量（ボリューム）を小さくしてください。音量が大きいままにしておくと、次に電源を入れたときに過大入力でスピーカーを破損したり、突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。
- 長時間音がひずんだ状態で使わないでください。アンプ、スピーカー等が発熱し、火災の原因となることがあります。
- ヘッドホンをご使用になる時は、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。
- 本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。
- キャッシュカード、フロッピーディスクなど、磁気を利用した製品を近づけないでください。磁気の影響で製品が使えなくなったり、データが消失することがあります。

■ 電源コード、電源プラグの注意

- 電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ず、プラグを持って抜いてください。
- 電源コードを束ねた状態で使用しないでください。発熱し、火災の原因となることがあります。

⚠注意

電源プラグをコンセント
から抜いてください

● 旅行などで長期間、本機をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

● 移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

■電池について

● 電池をリモコンに挿入する場合、極性表示（プラス＋とマイナス－の向き）に注意し、表示どおりに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

● 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより火災、けがや周囲の汚損の原因となることがあります。

● 電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。

■スピーカーコードについて

● スピーカーコードを傷つけたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。火災・感電の原因となることがあります。

■点検・工事について

電源プラグをコンセント
から抜いてください

● お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。

● 使用環境にもよりますが、2年に1回程度の機器内部の掃除をお勧めします。もよりの販売店にご相談ください。

本機の内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除、点検費用等についても販売店にご相談ください。

● 電源プラグにほこりがたまると自然発火（トラッキング現象）を起こすことが知られています。年に数回、定期的にプラグのほこりを取り除いてください。梅雨期前が効果的です。

● アンテナ工事には経験と技術が必要ですので、販売店にご相談ください。

● 屋外アンテナは送配電線から離れた場所に設置してください。アンテナが倒れた場合、感電の原因となることがあります。

● シンナー、アルコールやスプレー式殺虫剤を本機にかけないでください。塗装がはげたり変形することがあります。

● 表面の汚れは、中性洗剤をうすめた液に布を浸し、固く絞って拭き取ったあと、乾いた布で拭いてください。
化学ぞうきんなどお使いになる場合は、それに添付の注意書きなどをお読みください。

主な特長

NC-500Xは、ブロードバンド・インターネットやホームネットワークに対応した、設置場所を問わずに音楽をお楽しみいただけるネットワークオーディオ製品です。

■ネットワークを流れる音楽を快適にコントロールする、Net-Tune®システム
オーディオをネットワークに接続、音楽データのストリーミング再生を快適に実現するのがNet-Tune®システムです。従来のオーディオ機器に匹敵する音質と操作性を実現する通信プロトコルNTSP（Net-Tune® System Protocol）を採用してネットワーク上でストレスを感じない音楽再生を可能にしています。

※ 著作権保護されている音楽データは再生されません。また、ネットワークを経由して音楽データをデジタル録音することはできません。

■パソコンから好きな音楽を再生
パソコンに保存された音楽の中から好きな曲を選んで再生することができます。
ネットワークには複数のNC-500Xを接続（同時再生は3台まで）できるので、好きな部屋で好きな時に楽しむことができます。

■飛躍的な音質向上を実現する「VLSCR」回路
D/A変換の際に発生する有害なパルス性ノイズを全く含まず、滑らかな信号を生成していく「VLSCR」回路を搭載、デジタル音楽をハイクオリティな音質で楽しむことができます。また、本体前面にはアルミパネルを、接続端子には信頼性の高い金メッキ端子を採用しています。

■20W＋20W高品位アンプ&独自回路設計
出力20W＋20Wのアンプを内蔵、回路設計をシンプル&ストレート化することにより、入力信号を忠実に再現します。また、独自の理論に基づいた、ノイズによっても変動しない“グランド電位の安定化”を図るなど、徹底したノイズ低減と音質の向上を実現しています。

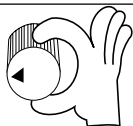
■インターネットに接続して世界のラジオを聞く
ブロードバンド環境でインターネットを楽しんでいる場合には、世界に流れるインターネットラジオを直接受信することができます。

■高機能リモコン、大型ディスプレイを搭載
入力ソースの選択や音楽の再生、停止、早送りなどはもちろん、曲の呼び出しなども快適な専用リモコンを搭載しています。また本体には大型ディスプレイを装備、英数字、カナ表示にも対応しています。

■その他の便利な機能
・FM/AMチューナー内蔵
・インターネットラジオ20局プリセットメモリー
・アラーム(タイマー)再生機能
・スリープタイマー機能
・テレビ画面へのディスプレイ表示

* VLSCの名称、ロゴはオンキヨーの商標です。
* Net-Tune®およびネットチューンの名称、ロゴはオンキヨーの商標です。
* Windows Media、Windowsロゴは米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

メモリー保持について
NC-500Xには、メモリー保持用の予備電源装置が内蔵されています。これは、お客様が設定した内容などを停電時などに保護するためのものです。NC-500Xの電源コードを抜いた状態で、メモリーを保持できるのは約2週間です。

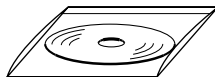
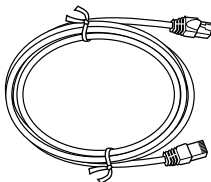
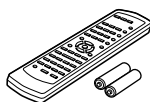
ステレオ、音のエチケット
楽しい音楽も、時間と場所によっては気になるものです。隣近所への配慮を十分にしましょう。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。
お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

箱を開けたら、まず

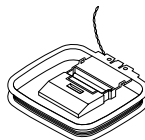
付属品を確認する

ご使用の前に次の付属品がそろっていることをお確かめください。（　）内の数字は数量を表しています。

- **リモコン（RC-520S）（1）**
- **乾電池（単3形）（2）**

- **イーサネットケーブル (3m) （1）**
  本機とルーターなどを接続するケーブルです。

- **CD-ROM（Net-Tune® Centralウィンドウズ版）（1）**

- **オーディオ用ピンコード（1）**
  アナログ音声を送るコードです。

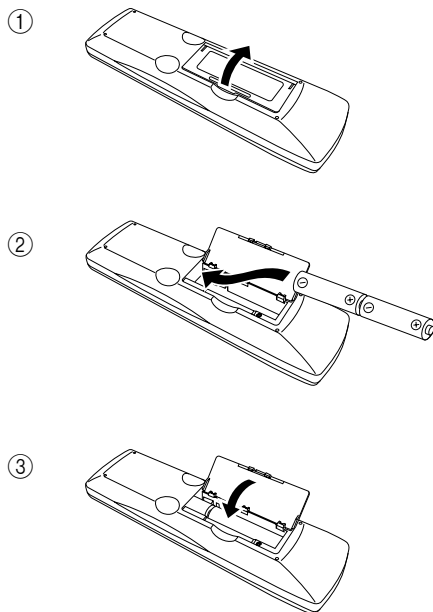
- **AM室内アンテナ（1）**
  AM放送を受信するアンテナです。

- **ビデオコード（1）**
  オンスクリーンディスプレイを表示させるときにテレビと接続するためのコードです。

- **FM室内アンテナ（1）**
  FM放送を受信するアンテナです。

- **取扱説明書（本書1）**
- **オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内（1）**
- **保証書（1）**

ご注意

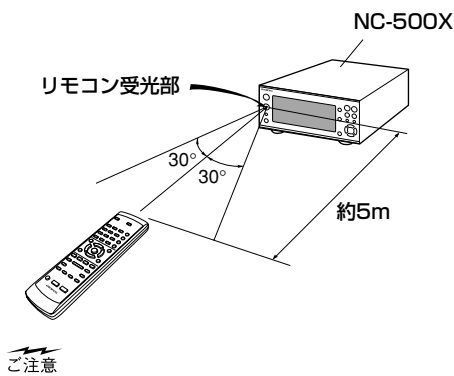
- CD-ROMを開封する前に、必ず「ソフトウェア使用許諾契約について」（→58ページ参照）をお読みください。
- カタログおよび包装箱などに表示されている型名の最後のアルファベットは、製品の色を表す記号です。色は異なっても操作方法や仕様は同じです。

リモコンの乾電池の入れかたと交換のしかた

リモコンの反応が悪くなったら、2本とも新しい乾電池（単3形）と交換してください。

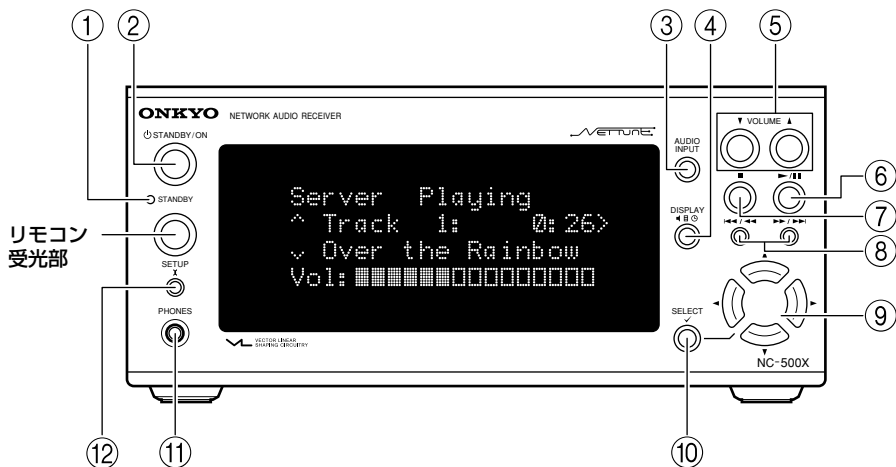
- 電池の極性（⊕、⊖）は表示通り正しく入れてください。
- 種類の異なる電池の使用や、新しい電池と古い電池の混用は避けてください。
- 長期間リモコンを使用しないときは、電池の液もれを防ぐため、電池を取り出しておいてください。

リモコンの使いかた

リモコンを本機のリモコン受光部に向けて操作してください。

ご注意

- リモコン受光部に直接日光やインバーター蛍光灯などの強い光を当てないでください。
- 赤外線を発射する機器の近くで使用したり、他のリモコンを併用すると誤動作の原因となります。
- オーディオラックのドアに色付きガラスを使っていると、リモコンが正常に機能しないことがあります。
- リモコンとリモコン受光部の間に障害物があると、操作できません。
- リモコンの上に本などの物を置かないでください。ボタンが押しつづけられた状態になり、電池が消耗してしまうことがあります。

各部の名称と働き

前面パネル

[ ]内の数字は、参照ページを示しています。

① STANDBY（スタンバイ）インジケーター[24]
スタンバイ時に点灯します。

② STANDBY（スタンバイ）/ON（オン）ボタン[24、52]
電源のスタンバイ/オンを切り換えます。

③ AUDIO（オーディオ） INPUT（インプット）ボタン[24]
再生するソースを切り換えます。

④ DISPLAY（ディスプレイ）ボタン[27、29、30、47]
表示部の情報を切り換えます。

⑤ VOLUME（ボリューム） ▲/▼ボタン[24]
音量を調整します。
アンプと本機をVARIABLE（バリアブル） OUT（アウト）で接続している場合は、アンプに接続されている他の機器（MDプレーヤーやCDプレーヤー）との音量のバランスをとるためだけに使用してください。

⑥ ►/❚❚（再生/一時停止）ボタン[43]
再生します。再生中に押すと一時停止をします。

⑦ ■（停止）ボタン[43]
再生を停止します。

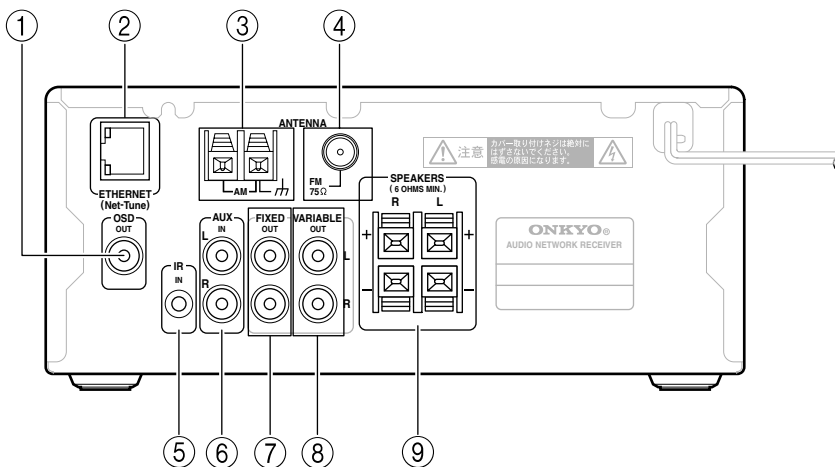
⑧ ⏮/◀◀/▶▶/⏭（頭出し/早戻し/早送り）ボタン[43]
曲の頭出しをします。押し続けると早送り/早戻しをします。

⑨ カーソル ▲/▼/◄/►ボタン
項目を選択します。

⑩ SELECT（セレクト）（✓）ボタン
選択した項目を決定します。

⑪ PHONES（フォーンズ）端子[33]
ヘッドホンのミニプラグを接続します。

⑫ SETUP（セットアップ）（⌶）ボタン
セットアップやメニューモードに入ります。

後面パネル

[　]内の数字は、参照ページを示しています。

① OSD OUT(アウト)[23]

表示部の内容をテレビに大きく映し出すための端子です。

② ETHERNET(イーサネット)[34]

Ethernetケーブルをルーターやハブに接続してホームネットワークと接続するための端子です。

LINKインジケーター

正しく接続されているとき、緑色に点灯します。

ACTインジケーター

データを転送しているときなど、何らかの動作があるとオレンジ色に点滅します。

③ AM ANTENNA(アンテナ)端子[18、19]

付属のAMアンテナまたはAM屋外アンテナを接続する端子です。

④ FM ANTENNA(アンテナ)端子[18、19]

付属のFM室内アンテナまたはFM屋外アンテナを接続する端子です。

⑤ IR IN端子

別室からリモコン操作したいときや本機をラックに入れたときに、リモコンセンサーを取り付ける端子です。この接続にはマルチルームシステム用のキットが必要ですが、2003年10月時点では日本国内では販売されていません。

⑥ AUX(オグジャリー)端子[22]

外部オーディオ再生機器を接続する端子です。

⑦ FIXED(フィックスト) OUT(アウト)端子[21、22]

ボリューム付きのアンプやアンプ内蔵スピーカーなどを接続する端子です。

⑧ VARIABLE(バリアブル) OUT(アウト)端子[23]

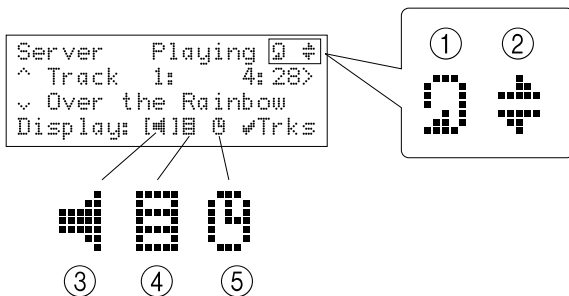
ボリュームの付いていないアンプなどを接続する端子です。

⑨ SPEAKERS(スピーカー) 端子[20]

スピーカー（左/右）を接続します。

表示部

(1) 状況表示アイコン

表示モードや再生モードを表します。

① **リピートマーク**
リピート再生時に表示します。

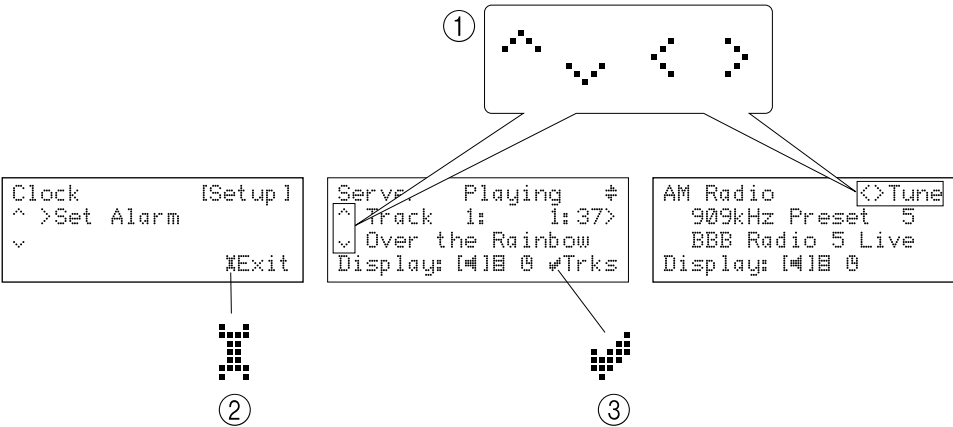
② **ランダムマーク**
ランダム再生時に表示します。

③ **ステータスモードマーク**
表示がステータスモードのとき、このアイコンが[ ]で囲まれます。

④ **ブラウザモードマーク**
表示がブラウザ（検索画面）モードのとき、このアイコンが[ ]で囲まれます。

⑤ **クロックモードマーク**
表示が時計モードのとき、このアイコンが[ ]で囲まれます。

(2) 操作ガイドマーク

操作ガイドマークの右にそのとき操作できる機能が表示されます。

① ∧/∨/</>

カーソル▲/▼/◄/►がそれぞれ有効です。
例）"<>Tune" 表示のとき、カーソル◄/►を押すとFMまたはAMラジオのチューニングを行います。

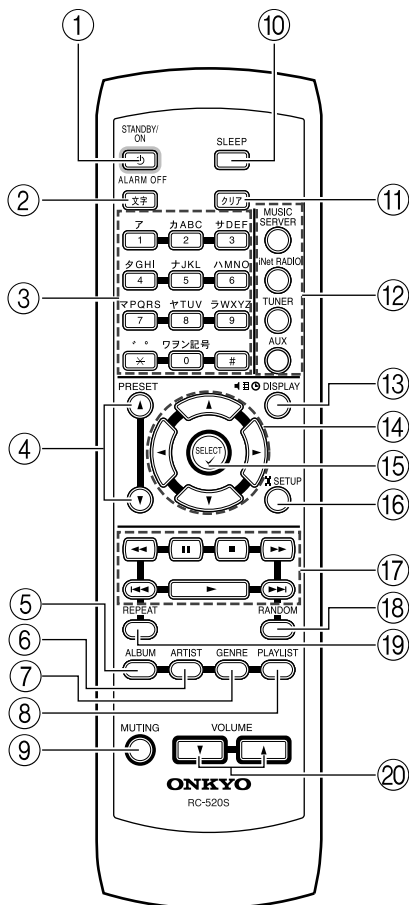
② SETUP（セットアップ）マーク

SETUPボタンを押すと、SETUPマーク（ ）の右に表示される機能を実行します。
例）" Exit（イグジット）" 表示のとき、SETUPボタンを押すとEXIT動作（メニューを終了する）をします。

③ SELECT（セレクト）マーク

SELECTボタンを押すと、SELECTマーク（ ）の右に表示される機能を実行します。

リモコン（RC-520S）

STANDBY/ON
SLEEP
ALARM OFF
文字
クリア
MUSIC SERVER
iNet RADIO
TUNER
AUX
ア
カABC
サDEF
タGHI
ナJKL
ハMNO
マPQRS
ヤTUV
ラWXYZ
ワヲン記号
PRESET
DISPLAY
SELECT
SETUP
REPEAT
RANDOM
ALBUM
ARTIST
GENRE
PLAYLIST
MUTING
VOLUME
ONKYO
RC-520S

① **STANDBY/ONボタン[24、52]**
電源のオンとスタンバイを切り換えます。

② **文字ボタン[44、48]**
文字の入力モードを切り換えます。

③ **数字ボタン[44、48]**
再生したい曲を選びます。文字を入力する時はカナや記号が入力できます。

④ **PRESET ▲/▼ボタン[30、49]**
インターネットラジオやラジオ受信時、プリセット選局を行ないます。

⑤ **ALBUMボタン[42]**
入力でServerを選び、音楽データを再生しているとき、アルバム選択メニューにはいります。

⑥ **ARTISTボタン[42]**
入力でServerを選び、音楽データを再生しているとき、アーティスト選択メニューにはいります。

⑦ **GENREボタン[42]**
入力でServerを選び、音楽データを再生しているとき、ジャンル選択メニューにはいります。

⑧ **PLAYLISTボタン[42]**
入力でServerを選び、音楽データを再生しているとき、プレイリスト選択メニューにはいります。

⑨ **MUTINGボタン[33]**
音を一時的に小さくします。

⑩ **SLEEPボタン[53]**
スリープタイマーを設定します。

⑪ **クリアボタン[29、48、49]**
文字を消去します。

⑫ **MUSIC SERVER/iNetRADIO/TUNER/AUXボタン[24、28]**
聞くソースを選びます。MUSIC SERVERとは、Net-tune® Centralをインストールしたパソコンのことです。iNetRADIOはインターネットラジオのことです。チューナー時はFMとAMを切り換えます。

⑬ **DISPLAYボタン[27、29、30、47]**
表示部の情報を切り換えます。

⑭ **カーソル ▲/▼/◀/▶ボタン**
項目を選択します。

⑮ **SELECTボタン**
選択した項目を決定します。

⑯ **SETUPボタン**
セットアップやメニューモードに入ります。

⑰ **操作ボタン[43]**

◀◀/▶▶ ボタン
押しつづけると再生している曲の早戻し/早送りをします。

❚❚（一時停止）ボタン
再生を一時停止します。

▶ (Play) ボタン
再生を始めます。

■ (Stop) ボタン
再生を停止します。

I◀◀/▶▶I ボタン
前の曲や次の曲の頭出しをします。

⑱ **RANDOMボタン[43]**
順不同に再生します。

⑲ **REPEATボタン[43]**
くり返し再生します。

⑳ **VOLUME ▲/▼ ボタン[24]**
音量を調整します。
アンプと本機をVARIABLE OUTで接続している場合は、アンプに接続されている他の機器（MDプレーヤーやCDプレーヤー）との音量のバランスをとるためだけに使用してください。

アンテナを接続する

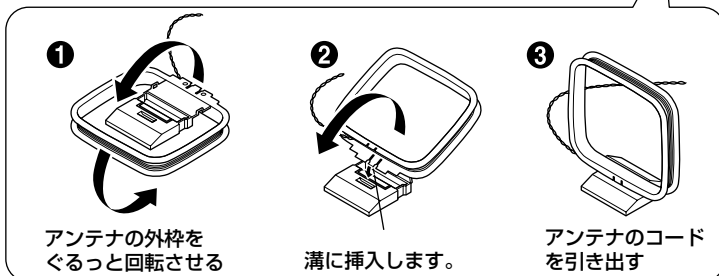
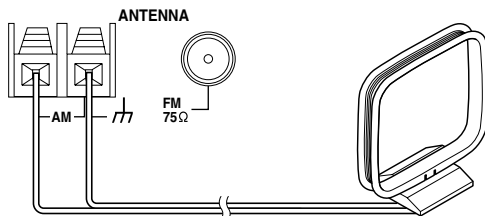
付属している室内アンテナの接続

付属のAM室内アンテナをつなぐ

AMアンテナのコードは、分岐した先端を上下端子のどちらに接続してもかまいません。（スピーカーコードのように極性による区別はありません。）

AMアンテナコードのつなぎ方

1. アンテナ端子のレバーを押す
2. アンテナコード線の先を挿入する
3. 指を離すとレバーが元の位置に戻る

ご注意

雑音の原因になりますので、AM室内アンテナはNC-500X、パソコン、テレビ、接続コードからできるだけ離して設置してください。

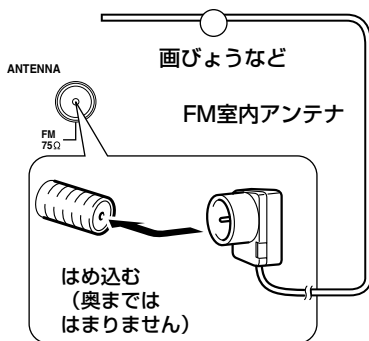
AM室内アンテナについて

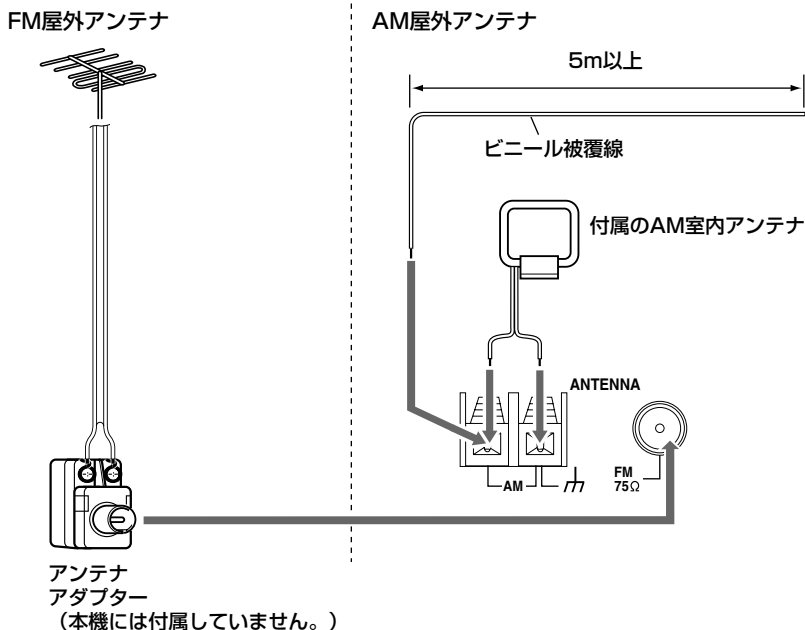
良好な受信状態になるように設置場所を変えたり、左右に回して調整してください。

付属のFM室内アンテナをつなぐ

電波の強い地域では、付属のFM室内アンテナで放送を聞くことができます。放送を聞きながらひずみや雑音の最も少ない位置に画びょうなどを使ってアンテナの端を固定してください。
室内アンテナで安定した受信ができないときは、屋外アンテナを設置して接続してください。

ご注意

画びょうを使うときは、指先などにけがをしないように注意してください。

屋外アンテナの接続

FM、AM屋外アンテナをつなぐ

FM屋外アンテナについて

市販のアンテナアダプターを使用して、上図のように接続します。

- 建物の陰にならず、FM放送電波が直接受信できるところに設置してください。
- 自動車のエンジンによる雑音を避けるため、道路からできるだけ離れたところに設置してください。

ご注意

⚠送電線の近くは危険ですので絶対に設置しないでください。

- アンテナ工事には技術と経験が必要ですので販売店にご相談ください。

AM屋外アンテナについて

鉄筋住宅などでAM室内アンテナだけでは受信状態が悪いときは、5m以上のビニール被覆線を窓ぎわや屋外にはってください。付属のAM室内アンテナは接続しておいてください。

スピーカーを接続する

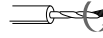
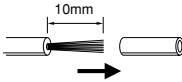
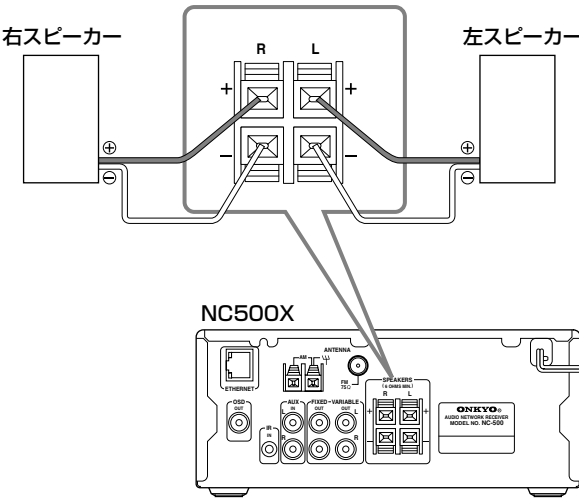
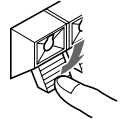
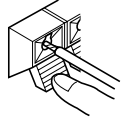
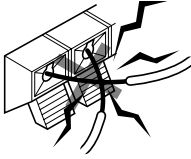
接続する前に

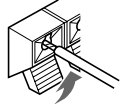
スピーカーインピーダンスが4Ω〜16Ωのものをご使用ください。4Ω未満のものは使用できません。

不必要に長いスピーカーコードや細すぎるスピーカーコードは使用しないでください。
スピーカーコードの電流抵抗値が高くなってダンピングファクターが低下し、音質を低下させる原因となります。

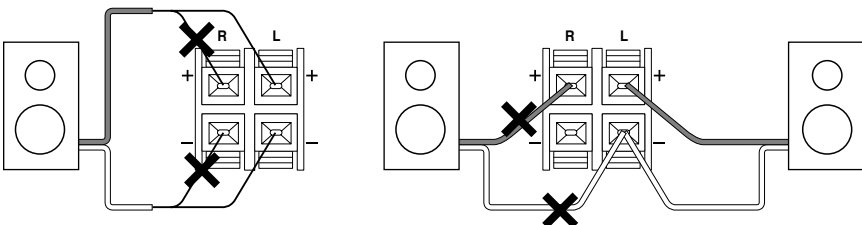
① スピーカーコードの先のビニール（絶縁体）部分を、しん線を残して10mmはがします。

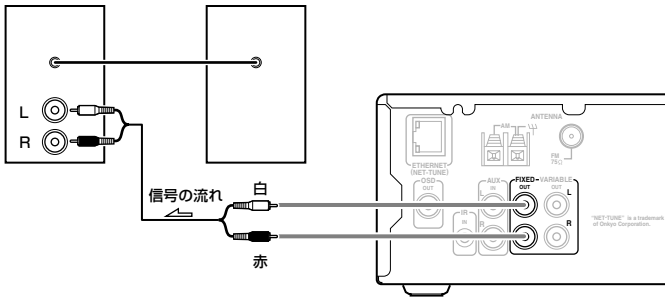
10mm

② しん線をよじります。

左右スピーカーの接続

① レバーを押します。

② しん線を穴の中に入れます。

③ レバーをはなします。

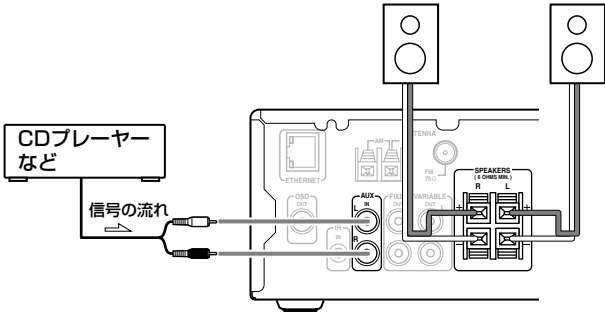
ご注意

- プラス（＋）とマイナス（－）を間違って接続したり、左右のスピーカーを間違えて接続しないでください。音声が不自然になります。
- スピーカーコードの目印線の入っている方をプラス（＋）側に接続してください。

危険

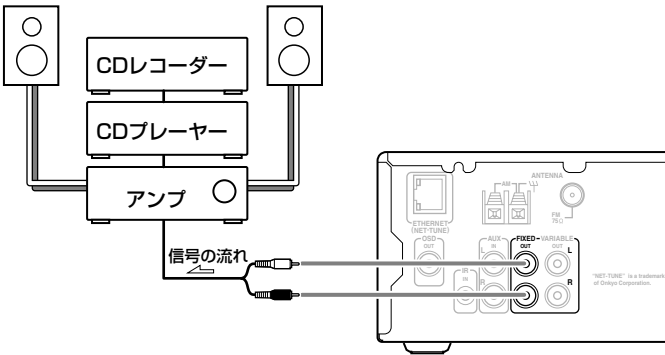
回路の故障を防ぐため、スピーカーコードのしん線のプラスとマイナスあるいはL/Rを絶対にショートさせないでください。

アンプ内蔵スピーカーを接続する場合

アンプが内蔵されたスピーカーとNC-500Xを接続します。
ボリュームのついているアンプ内蔵スピーカーの場合は、NC-500XのFIXED OUT端子とアンプ内蔵スピーカーの入力端子を付属のオーディオ用ピンコードで接続します。音量はスピーカーについているボリュームで調節します。

テレビやオーディオ機器を接続する

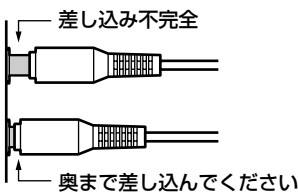
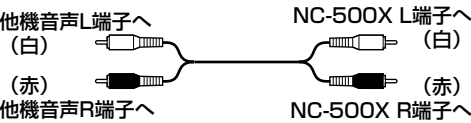
CDプレーヤーなどの外部再生機器と接続する

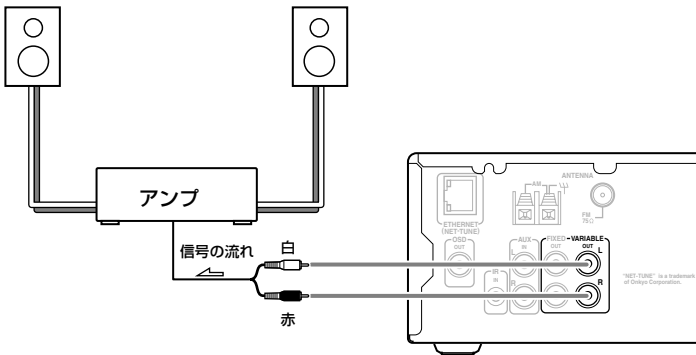
NC-500Xに外部再生機器を接続することができます。NC-500XのAUX IN端子と外部再生機器の音声出力端子をオーディオ用ピンコードで接続します。

アンプを接続する場合

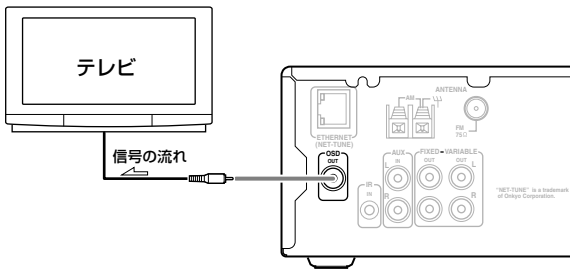
スピーカーやその他の再生機器が接続されたアンプとNC-500Xを接続します。

ボリュームのついているアンプの場合は、NC-500XのFIXED（フィックスト） OUT（アウト）端子とアンプの入力端子を付属のオーディオ用ピンコードで接続します。音量はアンプで調整します。

ご注意

- 音声用ピンコードは、次のように接続してください。

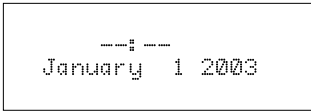
- コードのプラグはしっかりと奥まで差し込んでください。接続が不完全ですと、雑音や動作不良の原因になります。

テレビやオーディオ機器を接続する

ボリュームのついていないパワーアンプと接続する場合はNC-500XのVARIABLE（バリアブル） OUT（アウト）端子とアンプの入力端子を付属のオーディオ用ピンコードで接続します。この場合、音量はNC-500Xで調整します。

テレビと接続する

テレビと接続するとNC-500Xの表示部が拡大されてテレビに表示され、設定や選曲が簡単にできます。
NC-500XのOSD OUT端子とテレビのビデオ入力端子を付属のビデオコードで接続します。

基本操作をマスターする

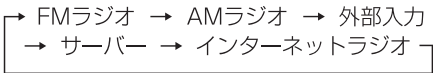
電源を入れてソースを選ぶ

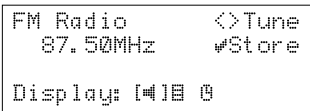
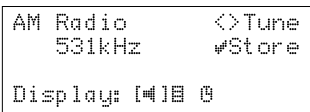
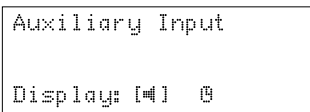
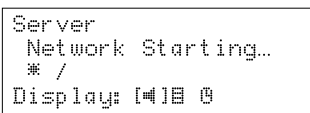
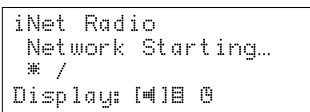
1. 電源コードを家庭用電源コンセントにつなぐ

電源コードを家庭用電源コンセントにつなぐと、スタンバイインジケーターが点灯し、以下のような表示になります。

2. 本体またはリモコンのSTANDBY/ONボタンを押す

スタンバイインジケーターは消灯します。

3. 本体のAUDIO（オーディオ） INPUT（インプット）をくり返し押してソースを選ぶ

押すたびに次のように切り換わります。

→ FMラジオ → AMラジオ → 外部入力 → サーバー → インターネットラジオ ┐

リモコンの入力選択ボタンを押すと、ダイレクトにソースを選ぶことができます。リモコンのTUNERボタンは、押すたびにFMとAMが切り換わります。

FMラジオ

AMラジオ

外部接続した
オーディオ機器

ミュージック
サーバー

インターネット
ラジオ

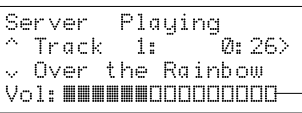
4. 選んだソースにより、再生する手順が異なります。

次のページに大まかな流れを記載しています。手順の詳細については、各ページの説明をご覧ください。

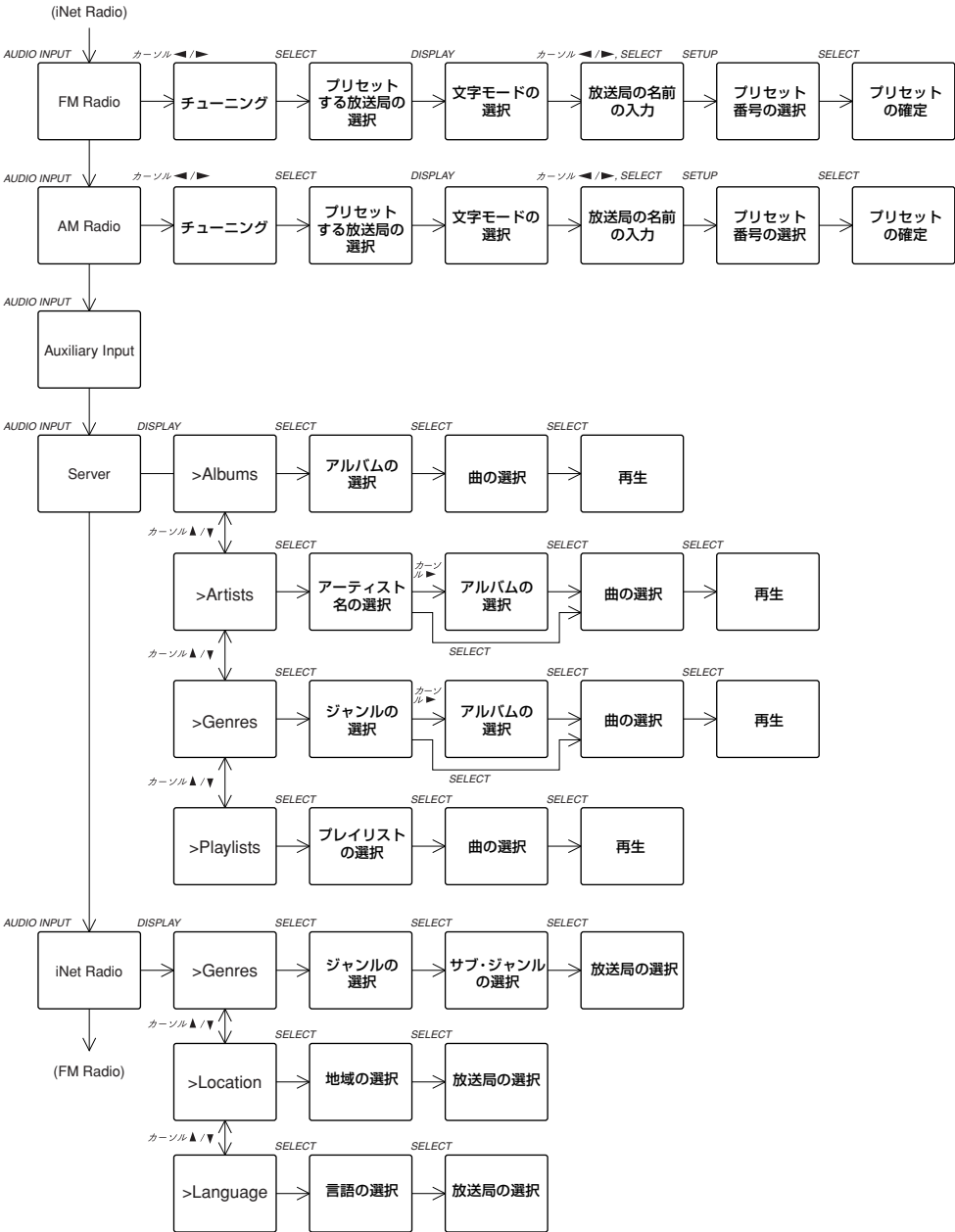
FMラジオ、AMラジオ（→28ページ）
外部接続したオーディオ機器（→32ページ）
ミュージックサーバー（→42ページ）
インターネットラジオ（→46ページ）

5. 本体またはリモコンのVOLUME（ボリューム）▲/▼で音量を調整する

ボリュームボタンを押してから2秒後、または他のボタンを押すとボリューム表示は消えます。

```
Server  Playing
^ Track  1:    0:26>
v Over the Rainbow
Vol:■■■■■■□□□□□□□□□
```

音量表示

操作の流れ

ここでは、本体のAUDIO　INPUTボタンや、リモコンの入力選択ボタンでソースを選んだあとの操作の流れをまとめています。NC-500Xにテレビを接続しているときは、NC-500Ｘの表示部の情報をテレビの画面で見ることができます。（テレビの接続については23ページをご覧ください。）

時計を合わせる

日付を合わせる

1. 本体またはリモコンのSETUP（セットアップ）ボタンを押す

設定項目を表示させせます。

2. 本体またはリモコンのSELECT（セレクト）ボタンを押す

3. カーソル▲/▼をくり返し押し、「Set Clock（時間設定）」を表示させる

```
Clock          [Setup]
^ >Set Clock
v
                  Exit
```

SELECTボタンを押します。

4. カーソル▲/▼をくり返し押して「Hours（時）」を合わせる

5. カーソル►を押して「Mins（分）」を表示させる

カーソル▲/▼をくり返し押して分を設定します。

```
Clock      [Set Clock]
     9:00 AM  Mins >
 January    1 2002
^vAdjust  Set  Exit
```

6. カーソル►を押して「AM/PM（午前/午後）」を表示させる

カーソル▲/▼をくり返し押してAMまたはPMを選択します。

```
Clock      [Set Clock]
     9:15 AM  AM/PM>
 January    1 2002
^vAdjust  Set  Exit
```

7. カーソル►を押して「Month（月）」を表示させる

カーソル▲/▼をくり返し押して月を設定します。

January	1月	July	7月
February	2月	August	8月
March	3月	September	9月
April	4月	October	10月
May	5月	November	11月
June	6月	December	12月

```
Clock      [Set Clock]
    09:15 PM  Month>
 January    1 2002
^vAdjust  Set  Exit
```

8. カーソル►を押して「Day（日）」を表示させる

カーソル▲/▼をくり返し押して日を設定します。

```
Clock      [Set Clock]
    09:15 PM  Day  >
 September  1 2002
^vAdjust  Set  Exit
```

9. カーソル►を押して「Year（年）」を表示させる

カーソル▲/▼をくり返し押して年を設定します。

```
Clock      [Set Clock]
    09:15 PM  Year >
 September  1 2002
^vAdjust  Set  Exit
```

時報などに合わせて、SELECTボタンを押すと時刻が設定されます。
元の表示に戻るにはSETUPボタンを押します。

日付と時刻を表示する

DISPLAY(ディスプレイ)ボタンを押すたびに表示が切り換わります。

(例)

ステータスモード

ブラウザモード

時計モード

時刻表示を切り換える

時計を12時間表示（AM/PM）と24時間表示に切り換えることができます。

1. SETUP(セットアップ)ボタンを押して設定項目を表示させる

2. SELECT(セレクト)ボタンを押す

3. カーソル▲/▼をくり返し押して「Mode [12Hour]」を表示させる

SELECTボタンを押します。

4. カーソル▲/▼を押して「12Hour」または「24Hour」を選ぶ

5. SELECTボタンを押して決定する

元の表示に戻るにはSETUPボタンを押します。

ラジオを聞く

ラジオを聞くには、手動でチューニングする方法と放送局を記憶させてプリセット選局する2つの方法があります。

手動でチューニングをする

1. NC-500Xの入力を「FM Radio」または「AM Radio」にする

本体のAUDIO INPUTボタンまたはリモコンのTUNERボタンをくり返し押して「FM Radio」または「AM Radio」と表示させます。

2. カーソル◄/►をくり返し押して聞きたいラジオの周波数を合わせる

<オートチューニング>
FM放送の場合は、カーソル◄/►をしばらく押してから手を離すと自動的に周波数が上がり(下がり)放送局を受信します。
(放送局は記憶されません。)
受信可能な局が見つかるまで周波数が自動的に上がり（下がり）ます。
オートチューニング中は“Scanning...”が表示されます。

ステレオ受信中です。　　**◄/►を押すと、周波数が上下します。**

(例)

```
FM Radio [ST] <>Tune
  87.5MHz Preset 01
  BBB Radio 1
Display:[◄]目 0
```

周波数が上がり（下がり）ます。

FM/AMラジオの周波数を記憶させる

放送局を受信し、お好みのプリセットナンバーに記憶します。一度プリセットメモリーするとリモコンのプリセット▲または▼ボタンで簡単に受信する事ができます。
FM、AMの放送局は合計で40局まで登録することができます。各プリセットにはそれぞれ15文字まで名前をつけることができます。

ご注意

電源コードを抜いたり停電状態が2週間以上続くと、プリセットされていた放送局や文字などは消えることがあります。その場合は、再度プリセットしてください。

1. NC-500Xの入力を「FM Radio」または「AM Radio」にする

本体のAUDIO INPUTボタンまたはリモコンのTUNERボタンをくり返し押して「FM Radio」または「AM Radio」と表示させます。

2. カーソル◄/►をくり返し押してプリセットしたいラジオの周波数を合わせる

“✔Store”はSELECTボタンでプリセットメモリーへの登録ができることを表しています。

SELECTボタンでプリセットメモリーへ登録します。

```
FM Radio      <>Tune
  87.5MHz     ✔Store

Display:[◄]目 0
```

3. SELECTボタンを押す

名前入力表示になります。

```
Name FM Preset
▦
⌄[+]A B C D E F G H
Display:Caps XOK ✔[]
```

4. DISPLAY（ディスプレイ）ボタンを押して入力する文字の種類を選ぶ

DISPLAYボタンを押すごとに以下のように3種類の文字列が切り換わります

アルファベット：ABC・・YZabc・・xyz
↓
カタカナ：アイウエオ・・・〜「」、。
↓
数字/記号：123・・!"#＄%&・・・

文字を表示しているとき、カーソル▲または▼を押すと前後の文字候補が切り換わります。

```
Name FM Preset
^
v + A B C D E F G[H]
Display:Caps XOK ✔[]
```

リモコンで入力する場合は：
「文字」ボタンを押すと文字の種類が切り換わります。

5. カーソル◄/►をくり返し押して入力したい文字を選び、SELECT（セレクト）ボタンを押して記憶させる

```
Name FM Preset
[                ]
v + A[B]C D E F G H
Display:Caps XOK ✔[]
```

文字入力をくり返して合計15文字まで記憶させることができます。

```
Name FM Preset
[BBB▓            ]
v + ア[イ]ウ エ オ カ キ ク
Display:Caps XOK ✔[]
```

リモコンで入力する場合：

「文字」ボタンを押して、希望する文字列を選んでください。

●アルファベットを入力するには
アルファベット文字列を選択し、数字ボタンを押すごとに、ボタンの上に記載されている文字が切り換わります。
たとえば②ボタンは押すごとにA→B→C→a→b→c→Aと切り換わります。次の文字を入力したい場合は、►►ボタンを押してください。

●カタカナを入力するには
アルファベット文字列を選択し、数字ボタンを押すごとに、ボタンの上に記載されている文字が切り換わります。
たとえば①ボタンは押すごとに「ア→イ→ウ→エ→オ→ァ→ィ→ゥ→ェ→ォ→ア」と切り換わります。次の文字を入力したい場合は、►►ボタンを押してください。

●数字を入力するには
数字/記号を選択し、数字ボタンを押します。

● 記号を入力するには
アルファベット文字列を選択し、1、＊、0、#から希望の記号を表示させてください。
「1」： ' " ( ) < > [ ] { }
「＊」： . @ - _ / : , ; 〜 ＊
「0」： ? ! + = & % # ¥ $
「#」： （スペース）
次の文字を入力したい場合は、►►ボタンを押してください。

文字を消すときは、各文字列の最初にある⁜を選びSELECTボタンを押すか、リモコンの**クリア**ボタンを押してください。間違えた文字に戻りたいときは、◄◄ボタンで戻ることができます。

6. SETUP（セットアップ）ボタンを押す

プリセット番号が表示されます。
全てのプリセット番号が使用されている場合はプリセット番号1が表示されます。

自動的に最初の未使用プリセット番号を表示します。

```
Store: BBB ラジオ
^ >FM Preset 1
v  [                ]
✔Set            XExit
```

7. プリセット番号を選ぶ

カーソル▲/▼をくり返し押して希望のプリセット番号を選びます。

8. SELECTボタンを押して放送局を記憶させる

選択したプリセット番号がすでに使用されている場合は新しい放送局が上書きされます。

```
FM Radio       <>Tune
  102.4MHz Preset 1
  BBB ラジオ
Display: [▪]▤ 0
```

プリセットした放送局を聞く

1. **NC-500Xの入力を「FM Radio」または「AM Radio」にする**

   本体のAUDIO（オーディオ） INPUT（インプット）ボタンまたはリモコンのTUNERボタンをくり返し押して「FM Radio」または「AM　Radio」と表示させます。

2. **本体のDISPLAY（ディスプレイ）ボタンを押してブラウザモード（ [Presets] 表示）にする**

3. **カーソル▲または▼を押して聞きたい放送局のプリセット番号を選ぶ**

   (^および⌄が画面の左端に表示されます。)

プリセット選択

リモコンで操作する場合：
表示モードを切り換えずにPRESET▲または▼ボタンで直接プリセット局を選択できます。

表示部の情報を切りかえる

DISPLAYボタンを押すたびに以下のように表示が切り換わります。

Auto（オート）/Mono（モノ）を切り換える

FMラジオを受信する場合は、AutoとMonoを切りかえる事ができます。
受信状態が悪い場合はMonoに設定すると、モノラル音源になりますが、雑音や音の途切れを軽減することができます。

1. **SETUPボタンを押して設定項目を表示させる**

2. **カーソル▲/▼をくり返し押して「FM Radio」を表示させる**

3. **SELECTボタンを押す**

4. カーソル▲/▼を押して「FM Mode」を表示させ、SELECTボタンを押す

5. カーソル▲/▼を押して「Auto」または「Mono」に切りかえる

6. SELECTボタンを押して確定する

元の表示に戻るにはSETUPボタンを押してください。

ステレオ受信表示モード

ステレオ受信中であることを示しています。

```
FM Radio [ST] <>Tune
  87.5MHz  Preset 01
  BBB Radio 1
Display: [ ]
```

モノラル受信表示モード

モノラル受信中であることを示しています。

```
FM Radio [ T] <>Tune
  87.5MHz  Preset 01
  BBB Radio 1
Display: [ ]
```

プリセット局につけた名前を変更する

プリセット局につけた名前を変更します。

1. SETUPボタンを押して設定項目を表示させる

2. カーソル▲/▼をくり返し押して「FM Radio」または「AM Radio」を表示させる

SELECTボタンを押します。

3. カーソル▲/▼を押して「Rename Preset」を表示させる

SELECTボタンを押します。

4. カーソル▲/▼を押して名前を変更したいプリセット局を選択する

SELECTボタンを押します。

5. ◄◄ または ►►を押して変更したい箇所まで点滅を移動させる
6. カーソル◄/►で新しい文字を選ぶ。
   SELECTボタンを押すと新しい文字に置き換えられます。
   他に変更したい文字があるときは、手順5、6をくり返します。
7. SETUPボタンを押して変更登録する

元の表示に戻るにはSETUPボタンを押してください。

プリセットした放送局を消す

メモリーしたプリセット局を削除します。

1. SETUPボタンを押して設定項目を表示させる

2. カーソル▲/▼をくり返し押して「FM Radio」または「AM Radio」を表示させる

SELECTボタンを押します。

3. カーソル▲/▼を押して「Delete Preset」を表示させる

SELECTボタンを押します。

4. カーソル▲/▼を押して削除したいプリセット局を選択する

SELECTボタンを押します。
プリセットした放送局が削除されます。

元の表示に戻るにはSETUPボタンを押してください。

接続したオーディオ機器を再生する

1. NC-500Xの入力を「Auxiliary（オグジリアリー） Input」にする

本体のAUDIO（オーディオ） INPUT（インプット）ボタンをくり返し押すかリモコンのAUXを押して「Auxiliary Input」と表示させます。

2. 外部機器を再生する

外部機器

その他の操作

一時的に音量を小さくするには

MUTINGボタンを押す

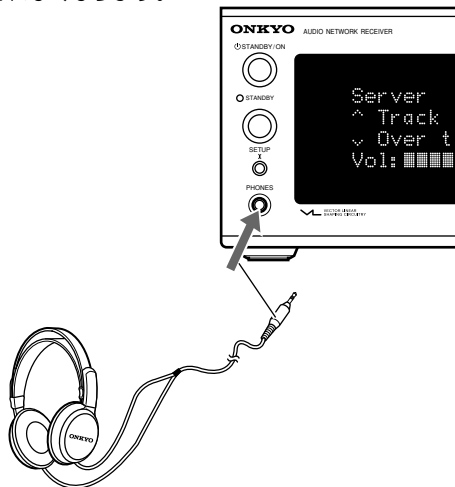
リモコンのMUTING（ミューティング）ボタンを押すと表示部に「Muting」が点灯します。

解除するには・・
もう一度MUTINGボタンを押してください。
（VOLUMEまたはSTANDBY/ONボタンを押した場合にも解除されます。）

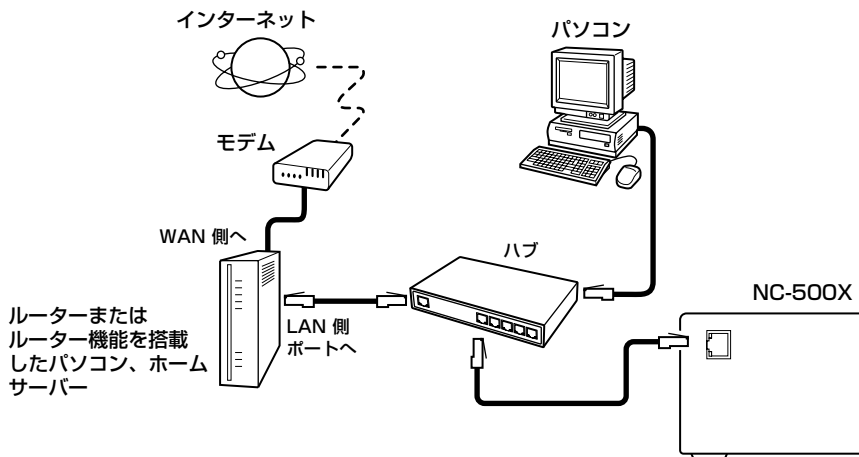
リモコン

ヘッドホンで聞く

ヘッドホンのステレオミニプラグをPHONES端子に接続する

ヘッドホンを接続すると、スピーカーおよびVARIABLE OUTに接続した機器から音声は出力されなくなります。

LANの接続

ホームネットワーク（LAN）と接続する

NC-500Xはネットワーク情報を自動的に取得することができるDHCP機能に対応しています。ご利用中のルーターのDHCP機能が有効になっていることをご確認ください。
インターネットラジオをご利用の場合は、ルーターがインターネットに接続されている必要があります。xDSLまたはCATVを経由した高速なブロードバンド接続とルーターの使用をお勧めします。低速な回線の場合には、インターネットラジオを快適な環境でお楽しみいただけない事があります。
ルーターのインターネットへの接続方法については、各製品の取扱説明書およびインターネットサービスプロバイダ（ISP）のセットアップガイド等をご確認ください。

■モデム（ケーブルモデム、xDSLモデム、ターミナルアダプタなどの、専用回線と接続してインターネット通信を行なうための機器）
インターネット接続するには、インターネットサービスプロバイダ（ISP）との契約が必要です。ISP業者によって使用できるモデムの種類が異なりますので、詳細はISP業者またはパソコン販売店にお問い合わせください。

■パソコン
オーディオ機器からMP3、WMA、WAVE（PCM）などの音楽ファイルを作成したり、Net-Tune（ネット チューン）Central（セントラル）をインストールして音楽ファイルを編集する場合に使用します。

推奨するシステム構成

・ Intel® Pentium® Ⅲ 600MHz 以上のCPU
・ Microsoft® Windows® 2000 Professional, XP
・ RAM 128MB (Microsoft® Windows® 2000 Professional), 256MB (Microsoft® Windows® XP)
・ Ethernetインターフェイス
・ 20MB以上のハードディスク空き容量

■ブロードバンド・ルーター（Gateway）（ホームネットワークをインターネットに接続するための機器）
モデム機能やEthernet（イーサネット） Hub（ハブ）機能が内蔵されているルーターもあります。ISP業者によって使用できるルーターの種類が異なる場合もありますので、詳細はISP業者またはパソコン販売店にお問い合わせください。以下の機能のあるルーターをお使いください。

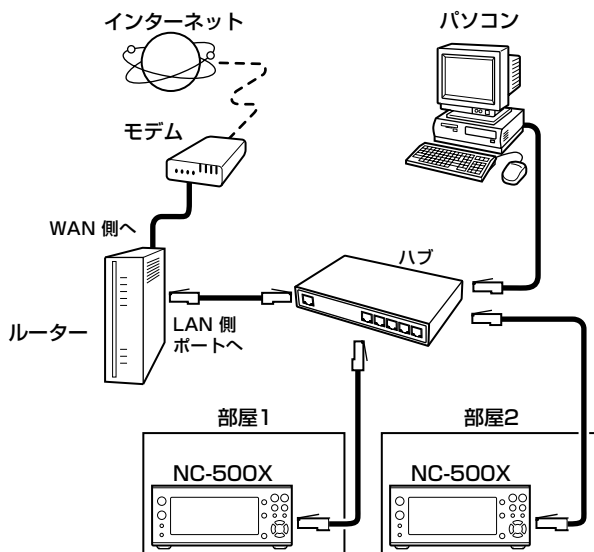
・ DHCP機能（Dynamic（ダイナミック） Host（ホスト） Configuration（コンフィギュレーション） Protocol（プロトコル））
・ ブロードバンド・インターネット接続機能
・ 10Base-T、または100Base-TXインターフェース（推奨）

LANの接続

無線LANの使用について
無線で使用する場合には別途無線対応のルーターが必要です。
無線LANの電波通信可能距離は、見通し半径25m以内（周りに何もない環境において）です。無線LANの特性上、近隣の電波環境、設置環境（建物の壁や扉の構造・材質、家電製品などの障害物、設置場所など）により通信距離が短くなったり、通信ができなくなる場合がありますのでご了承ください。また、無線LANで再生する音楽データはWMAまたはMP3をお勧めいたします。さらに詳細の情報については下記をご覧ください。
http://www.onkyo.co.jp/net-tune/

■Ethernet Hub（ネットワークに複数の機器を接続するための機器）

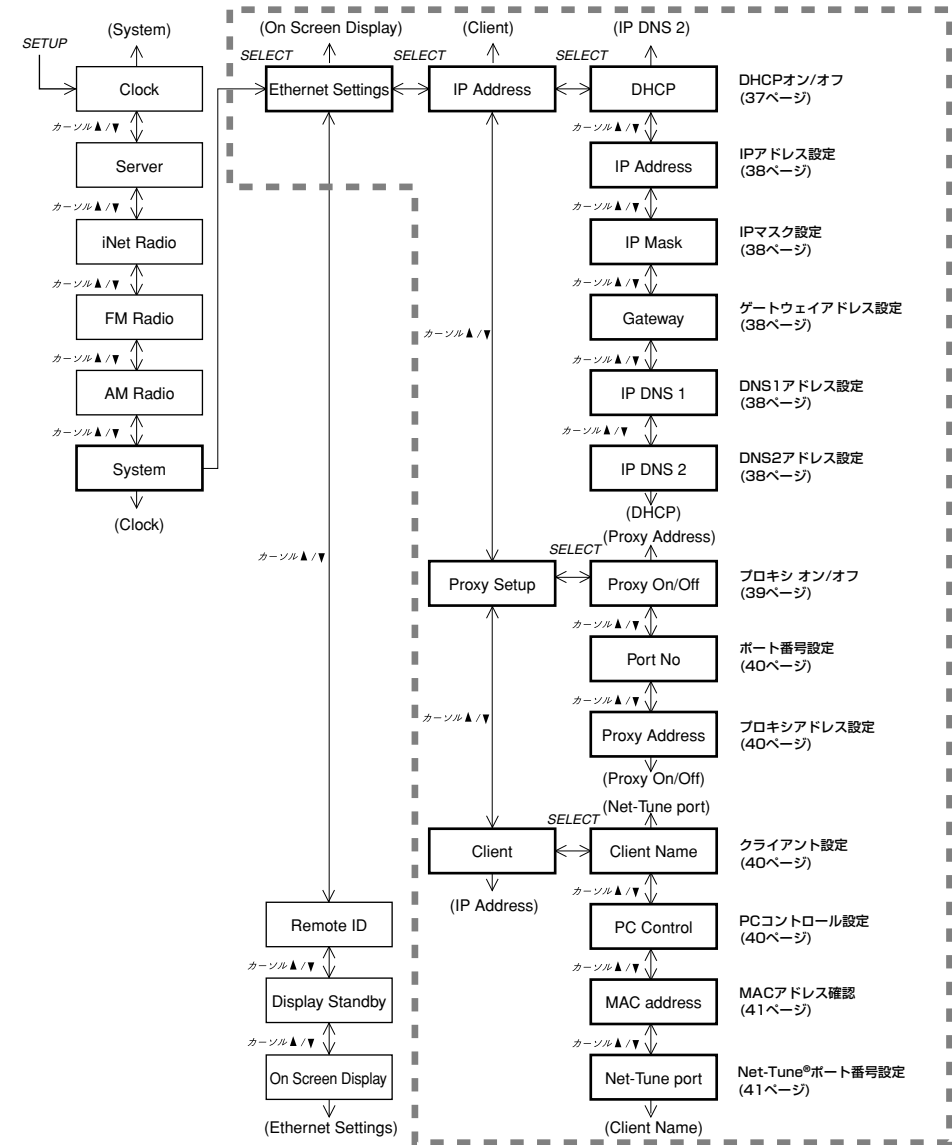
・スイッチング方式のものを推奨

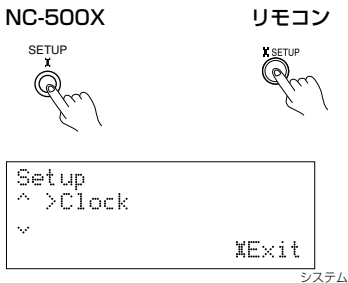
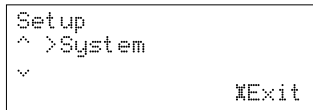
■Ethernetケーブル（付属しています）

複数のNC-500Xを接続すると、各部屋でそれぞれお好みの音楽をお楽しみ頂けます。

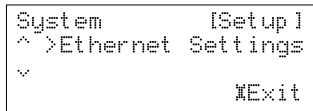
ホームサーバーについて
Net-Tune®機能を搭載したホームサーバーを使用すると、ホームサーバーに保存されている音楽ファイルをNC-500Xで演奏することができます。音楽を保存する方法については各製品やソフトウェアの取扱説明書をご確認ください。また、Net-Tune®に対応したホームサーバーの最新情報はオンキヨーのWebサイトでご確認ください。

ネットワークの設定（Ethernet Settings）

イーサネットの設定

パソコンに保存された音楽ファイルやインターネットラジオをお楽しみいただく前に、本機のネットワーク設定を確認する必要があります。
本機の設定の前に、ご利用中のルーターがインターネットに接続できていること、ルーターまたはハブがLANケーブルを接続して使用可能な状態であることをご確認ください。（→34、35ページ参照）
インターネットの接続に関しては、契約しているISP（インターネットサービスプロバイダ）またはルーターの取扱説明書をご覧ください。

ブロードバンドルーター（DHCP機能）をお使いの方は、本機の初期設定でDHCP機能がオンになっていますので、「イーサネットの設定」を行う必要はありません。
ブロードバンドルーターのDHCP機能を**オフにしたとき**は、ネットワークの設定を行う必要があります。その場合、ネットワークに関する知識が必要です。

1. SETUPボタンを押して設定項目を表示させる

2. カーソル▲を1回押して「System」を表示させる

SETUPボタンを押します。

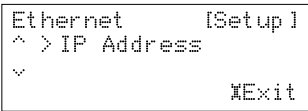
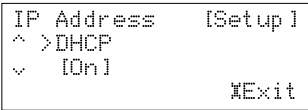
3. 「Ethernet Settings」が表示されているのでそのままSELECTボタンを押します。

ご注意

- 電源を入れたすぐ後は上記の表示が出ないことがあります。
- 設定が完了してから本機が記憶するまでに約２秒かかります。本機が記憶する前に電源を切ると設定が反映されません。このような場合は再度設定する必要がありますのでご注意ください。

IP アドレスの設定

IPアドレスの設定では、まずIP Addressの自動設定（DHCP）のOn/Offを確認します。
Onの場合はルーターと本機のDHCP機能によりIP Addressが自動設定されます。Offの場合はIPアドレス、IPマスク、ゲートウェイアドレス、DNSアドレスの入力が必要になります。

・DHCP機能を設定する

「System」→「Ethernet Settings」からカーソル▲/▼を使って「IP Address」を選択し、SELECTボタンを押します。

カーソル▲/▼を使って「DHCP」を選択し、SELECTボタンを押します。

カーソル▲/▼を使ってDHCP機能のOnまたはOffを設定します。

お持ちのルーターがDHCPに対応している場合はカーソル▲/▼でOnに設定します。DHCP機能がOnに設定されていると本機はその他のネットワーク設定を自動で行ないますので、以降のIP Addressの設定は必要ありません。

SETUPボタンを押して確定します。
DHCP機能をOffに設定した場合は以降のIP Addressを設定してください。

・IPアドレスを設定する
（DHCPをOffにしたときのみ必要です。）

「System」→「Ethernet　Settings」→「IP　Address」からカーソル▲/▼を使って「IP　Address」を選択し、SELECTボタンを押します。

```
IP Address    [Setup]
^ >IP Address
v   [000.000.000.000]
                 XExit
```

カーソル◄/►でケタを選択し、カーソル▲/▼で数字を変更してIP　Addressを入力します。カーソル▲を押すと数字が上がり、カーソル▼を押すと数字が下がります。
SELECTボタンを押して設定を確定します。

```
IP Address    [Setup]
  000.000.000.000

^vAdjust ↵Set   XExit
```

IP　Addressは下記の範囲（プライベートアドレス）内で設定できます。
CLASS A:　10.0.0.1～10.255.255.254
CLASS B:　172.16.0.1～172.31.255.254
CLASS C:　192.168.0.1～192.168.255.254

多くのルーターでは、特別な理由がない限り、CLASS Cの範囲でIP Addressを設定するようにします。上記の範囲外でIP Addressを設定するとNet-Tune®機能が正しく働きませんのでご注意ください。

・IPマスク（サブネットマスク）を設定する
（DHCPをOffにしたときのみ必要です。）

「System」→「Ethernet　Settings」→「IP　Address」からカーソル▲/▼を使って「IP Mask」を選択し、SELECTボタンを押します。

```
IP Address    [Setup]
^ >IP Mask
v   [000.000.000.000]
                 XExit
```

カーソル◄/►でケタを選択し、カーソル▲/▼で数字を変更してIP　Maskを入力します。カーソル▲を押すと数字が上がり、カーソル▼を押すと数字が下がります。
SELECTボタンを押して設定を確定します。

```
IP Mask          [Setup]
  000.000.000.000

^vAdjust ↵Set   XExit
```

基本的な設定は次のようにしてください。
CLASS A: 255.0.0.0
CLASS B: 255.255.0.0
CLASS C: 255.255.255.0

＊　詳細な設定は、お使いのネットワークに応じて変更してください。

・ゲートウェイのアドレスを設定する
（DHCPをOffにしたときのみ必要です。）

「System」→「Ethernet　Settings」→「IP　Address」からカーソル▲/▼を使って「Gateway」を選択し、SELECTボタンを押します。

```
IP Address    [Setup]
^ >Gateway
v   [000.000.000.000]
                 XExit
```

カーソル◄/►でケタを選択し、カーソル▲/▼で数字を変更してGatewayアドレスを入力します。カーソル▲を押すと数字が上がり、カーソル▼を押すと数字が下がります。
SELECTボタンを押して設定を確定します。

```
Gateway          [Setup]
  000.000.000.000

^vAdjust ↵Set   XExit
```

・DNSアドレスを設定する
（DHCPをOffにしたときのみ必要です。）

「System」→「Ethernet　Settings」→「IP　Address」からカーソル▲/▼を使って「IP　DNS1」を選択し、SELECTボタンを押します。

```
IP Address    [Setup]
^ >IPDNS1
v   [000.000.000.000]
                 XExit
```

カーソル◄/►でケタを選択し、カーソル▲/▼で数字を変更してIP DNS1アドレスを入力します。カーソル▲を押すと数字が上がり、カーソル▼を押すと数字が下がります。
SELECTボタンを押して設定を確定します。

```
IPDNS1          [Setup]
  000.000.000.000

^vAdjust ↵Set   ✖Exit
```

カーソル▲/▼を使って「IP DNS2」を選択し、SELECTボタンを押します。

```
IP Address      [Setup]
^ >IPDNS2
v   [000.000.000.000]
                 ✖Exit
```

カーソル◄/►でケタを選択し、カーソル▲/▼で数字を変更してIP DNS2アドレスを入力します。カーソル▲を押すと数字が上がり、カーソル▼を押すと数字が下がります。
SELECTボタンを押して設定を確定します。

```
IPDNS2          [Setup]
  000.000.000.000

^vAdjust ↵Set   ✖Exit
```

プロキシの設定

「System」→「Ethernet Settings」からカーソル▲/▼を使って「Proxy Setup」を選択し、SELECTボタンを押します。

```
Ethernet        [Setup]
^ >Proxy Setup
v
                 ✖Exit
```

・プロキシのOn/Offを切りかえる

「System」→「Ethernet Settings」→「Proxy Setup」からカーソル▲/▼を使って「Proxy On/Off」を選択し、SELECTボタンを押します。

保護機能を高めるためのプロキシサーバをご使用の場合はOnに設定し、ポート番号とURLを設定してください。プロキシサーバをご使用でない場合はOffに設定します。
SELECTボタンを押して設定を確定します。

```
Proxy          [On/Off]
^   On
v
          ↵Set   ✖Exit
```

・**ポート番号を設定する**
（プロキシをOnにしたときのみ必要です。）

「System」→「Ethernet Settings」→「Proxy Setup」からカーソル▲/▼を使って「Port No」を選択し、SELECTボタンを押します。

カーソル◄/►でケタを選択し、カーソル▲/▼で数字を変更してPort Noを入力します。
カーソル▲を押すと数字が上がり、カーソル▼を押すと数字が下がります。
SELECTボタンを押して設定を確定します。

```
Proxy        [Port No]
 Port No: 08080

^vAdjust  Set   Exit
```

・**プロキシ・アドレスを設定する**
（プロキシをOnにしたときのみ必要です。）

「System」→「Ethernet Settings」→「Proxy Setup」からカーソル▲/▼を使って「Proxy Address」を選択し、SELECTボタンを押します。

```
Proxy          [Setup]
^ >Proxy Address
v
                  Exit
```

カーソル◄/►で文字を選択し、SELECTボタンを押して確定します。
DISPLAYボタンまたはリモコンの「文字」ボタンを押すと、文字の種類が変わります。

```
Proxy Address[Setup]

v[+]A B C D E F G H
Display:Caps  OK  []
```

Proxy Addressを入力後、 SETUPボタンを押して確定します。

クライアントの設定

・**本機の名前（クライアント名）を設定する**

本機(クライアント)の名前は、パソコンがネットワーク上の本機を識別するために利用されれます。
「System」→「Ethernet Settings」からカーソル▲/▼を使って「Client」を選択し、SELECTボタンを押します。

カーソル▲/▼を使って「Client Name」を選択し、SELECTボタンを押します。

カーソル◄/►で文字を選択し、SELECTボタンを押して確定します。
DISPLAYボタンまたはリモコンの「文字」ボタンを押すと、文字の種類が変わります。

```
System   [ClientName]
    NC500▦
v[+]A B C D E F G H
Display:Caps  OK  []
```

Client Nameを入力後、 SETUPボタンを押して確定します。

同じネットワーク上で2台以上のNC-500Xを使用されているとき、複数のNC-500Xに同じ名前をつけないでください。

・**PCコントロールを設定する**

PC Controlを設定すると、ネットワーク上の他の機器から本機の電源をONにすることができます。
「System」→「Ethernet Settings」→「Client」からカーソル▲/▼を使って「Wakeup on LAN」を選択し、SELECTボタンを押します。

```
Client         [Setup]
^ > PC Control
v   [Enable]
                  Exit
```

カーソル▲/▼を使って「Enable(可)」または「Disable(不可)」を選択し、SELECTボタンを押します。

・ **MACアドレスを確認する**

MACアドレスを表示します。
「System」→「Ethernet Settings」→「Client」からカーソル▲/▼を使って「MAC address」を選択すると、本機のMACアドレスが表示されます。（MACアドレスとはネットワークインターフェースを識別するためのハードウェアアドレスで、工場出荷時にNC-500X一台ごとに異なるアドレスが割り当てられています。）

```
Client          [Setup]
^ >MAC address
v  [0009B0-00001A]
                  Exit
```

MACアドレスは変更できません。

・ **Net-Tune®のポートを設定する**

「System」→「Ethernet Settings」→「Client」からカーソル▲/▼を使って「Net-Tune Port」を選択し、SELECTボタンを押します。

カーソル◄/►でケタを選択し、カーソル▲/▼で数字を変更してNet-Tune®のポートを入力します。カーソル▲を押すと数字が上がり、カーソル▼を押すと数字が下がります。
SELECTボタンを押して設定を確定します。

ポート番号は特別な事情がないかぎり変更しないでください。

Net-Tune®サーバーの設定

Net-Tune® Centralが起動しているパソコン（Net-Tune®機能を搭載したホームサーバーも含む）が同じネットワークに複数ある場合、本機が接続するパソコンを指定する必要があります。
（本機とパソコンが同じネットワーク上にない場合、本機からパソコンが認識できません。）
本機は、初めてネットワークに接続した時に、同じネットワークでNet-Tune® Centralが起動しているパソコンを自動的に検索して接続しますが、接続するパソコンは任意に設定することができます。
一度設定すると、次回からはそのパソコンに接続します。
該当するパソコンがネットワーク上にない場合は「Server Timeout」が表示されます。

1. **パソコン上のNet-Tune® Centralが起動していることを確認する**

2. **本機とパソコンが同じネットワーク上で接続されていることを確認する**

3. **本機で音楽を演奏するパソコンを選択する**

SETUPボタンを押して設定項目を表示させる。
カーソル▲/▼を使って「Server」を選び、SETUPボタンを押します。
「Select Server」と表示されます。

SETUPボタンを押すとパソコン（Net-Tune®サーバー）名が表示されます。
カーソル▲/▼を使って希望のパソコン名を選択し、SELECTボタンを押します。

```
Server          [Setup]
^  Thickpad-R30
v
                  Exit
```

パソコン(Net-Tune®サーバー)に保存された音楽を楽しむ

付属のCD-ROMからNet-Tune® Centralをインストールして音楽ファイルを編集しておくと、パソコンに保存した音楽をネットワークを経由してNC-500Xで演奏することができます。

Net-Tune® Centralのインストールのしかたについては57ページを、Net-Tune® Centralの使い方については66ページをご覧ください。

ここではすでにNet-Tune® Centralを使って編集された音楽ファイルがパソコン上にあることを前提に説明しています。

* パソコンの代わりに、Net-Tune®機能を搭載したホームサーバーを使用することもできます。

曲を選んで再生する

パソコンに保存された曲は、アルバム別、アーティスト別、ジャンル別、プレイリスト別に再生することができます。
プレイリストでは好みの曲を好みの順に再生できます。プレイリストを使用するには、Net-Tune® Centralで、好みの曲をオリジナルのプレイリストに登録してください。
詳細は71ページを参照してください。

1. ホームネットワーク上のパソコンで、Net-Tune® Centralが稼働していることを確認する

2. NC-500Xの入力を「Server」にする

本体のAUDIO INPUTボタンをくり返し押すか、リモコンのMUSIC SERVERボタンを押して「Server」と表示させます。

```
Server
 Network Starting…
 * /
Display: [ ] 
```

```
Server Ready
 [Onkyo]
 Press DISPLAY
Display: [ ] 
```

NC-500Xの「Server」には、コンピュータ名が表示されます。

3. 曲の検索モードを選ぶ

DISPLAYボタンを押して"Server ［Library］"表示に切り換えます。

4. カーソル▲/▼をくり返し押してアルバム、アーティスト、ジャンル、プレイリストのいずれかを選び、SELECTボタンを押します。

手順3、4の代わりにリモコンのALBUM、ARTIST、GENRE、PLAYLISTボタンを押すと、同様の操作をワンタッチで行うことができます。

5. 再生したいアルバム、アーティスト、ジャンル、プレイリストを選ぶ

カーソル▲/▼を使って、再生したいアルバム、アーティスト、ジャンル、プレイリストを選び、SELECTボタンを押します。

5つのうちの1つ目を選択していることを示しています。

6. 再生したい曲を選択する

カーソル▲/▼をくり返し押して再生したい曲を選び、SELECTボタンを押します。
►ボタンを押しても再生が始まります。

選択された曲が、アルバムの全5曲の1曲目であることを示しています。

Playing .... 再生中です。
Stopped .... 停止中です。
Paused .... ポーズ中です。
Seeking < .... 早戻し中です。
Seeking > .... 早送り中です。

本機で操作をしていますが、実際はパソコンから本機にデータを転送しています。本機で操作をしてからパソコンが動作するまでに時間がかかることがあります。

再生を停止するには・・
本体もしくはリモコンの■ボタンを押します。

再生を一時停止するには・・
本体の►/▮▮ボタンもしくはリモコンの▮▮ボタンを押します。もう一度押すと一時停止を解除します。

曲を選ぶには・・
本体の⏮ / ◀◀、▶▶ / ⏭ボタンもしくはリモコンの⏮、⏭を押します。

早送り、早戻しをするには・・
本体の⏮ / ◀◀、▶▶ / ⏭ボタンもしくはリモコンの◀◀、▶▶ボタンを長押しします。指を離すと元の再生に戻ります。

いろいろな再生モード

RANDOM（ランダム）再生

リモコンのRANDOMボタンを押す
ランダムマークが表示され、選択しているアルバムやトラックリストに入っている曲をランダム再生します。

ランダム再生をやめるには・・
RANDOMボタンをもう一度押す
OFFが表示され、通常再生に戻ります。

REPEAT（リピート）再生

リモコンのREPEATボタンをくり返し押すと、選択しているアルバムや曲リスト全ての曲をリピート再生します。
一度押すと全ての曲をくり返し再生し、もう一度押すと再生中の曲のみリピートします。
ランダム再生と組み合わせて使うことができます。

リピート再生をやめるには・・
「Repeat Off」と表示されるまでREPEATボタンをくり返し押す。

All：トラックリスト全ての曲をリピート再生する
↓
1：1曲リピート再生する
↓
Off：リピート再生を無効にする

聞きたい曲を検索する

頭文字で検索する（カナ、英字）

表示部がブラウザモードの時、リモコンの数字ボタンを使ってアルバムタイトル、アーティスト名、ジャンル、プレイリストの頭文字を入力すると指定した頭文字で曲の検索ができます。

リモコンの「文字」ボタンを押すたびに文字の種類が切り換わり表示されます。

●アルファベットで検索するには
数字ボタンを押すごとにボタンの上に記載されている文字が切り換わります。
たとえば②ボタンは押すごとにA→B→C→Aと切り換わりますので、希望の文字を表示させてください。

●カタカナで検索するには
数字ボタンを押すごとにボタンの上に記載されている文字の行が切り換わります。たとえば②ボタンは押すごとに「カ→キ→ク→ケ→コ」と切り換わりますので希望の文字を表示させてください。

●数字で検索するには
数字ボタンを押すと数字が表示されます。
数字が頭文字の曲を検索します。

ヒント

・アルファベットの場合、大文字/小文字に関係なく検索します。
・該当する頭文字の曲がない場合は表示部は変わりません。

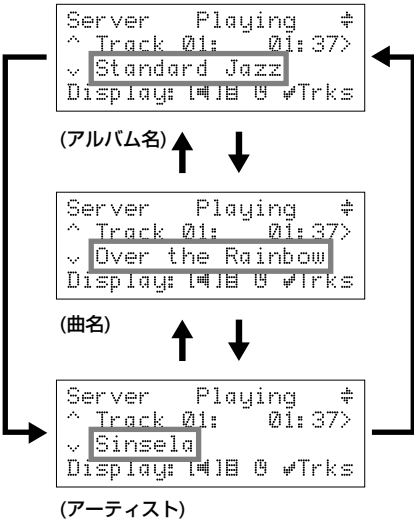
曲番で検索する

表示部がステータスモード（ ）の時はリモコンの数字ボタンで直接再生したい曲を検索する事ができます。
曲番を指定すると、自動的に再生します。
該当する曲番がない場合は、「Not Exist」と表示されます。

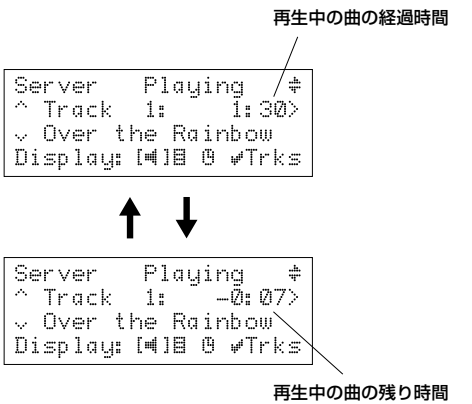
ex) トラック123を選択
　　ボタン[1] [2] [3]

表示部の情報を切りかえる

再生中の情報

曲を再生中に、カーソル▲/▼を押して、アルバム名、曲名、アーティストの情報を切り換えて表示できます。

本機は漢字には対応していません。
漢字が使用されていると、曲名などの文字は「‥」で表示されます。

再生中にカーソル►を押すと現在の曲の経過時間と、残り時間を交互に表示します。

ヒント

本機で操作をしていますが、実際はパソコンから本機にデータを転送しています。本機で操作をしてからパソコンが動作するまでに時間がかかることがあります。

インターネットラジオを楽しむ

インターネットラジオとはインターネット上で配信されるラジオ放送です。ブロードバンド回線に接続されている場合は、本機を使用してインターネットラジオをより良い音でお楽しみいただけます。

インターネットラジオを聞く

1. インターネットに接続する

2. NC-500Xの入力を「iNet Radio」にする

本体のAUDIO INPUTボタンをくり返し押すか、リモコンのiNet RADIOを押して「iNet Radio」と表示させます。

```
iNet Radio
 Network Starting...
 * /
Display: [◀]▤ ◷
```

```
iNet Radio
^ No Station
v Press DISPLAY
Display: [◀]▤ ◷
```

3. 聞きたい番組の検索モードを選ぶ

DISPLAYボタンを押してブラウザモード（[XXXXX]表示）に切り換えます

カーソル▲/▼をくり返し押してGenres、Location、Languageのいずれかを選びSELECTボタンを押します。

```
iNet Radio [Library]
^ >Genres
v
Display: ◀[▤]◷
```

```
iNet Radio [Library]
^ >Location
v
Display: ◀[▤]◷
```

```
iNet Radio [Library]
^ >Language
v
Display: ◀[▤]◷
```

・Genres（ジャンル）を選んだとき

カーソル▲/▼をくり返し押して「Genres」を選択し、SELECTボタンを押します。

```
iNet Radio  [Genres]
^ >Classical
v [1 of 5]
Display:      ✔SubGnr
```

5種類のうちの1つ目であることを示しています。

カーソル▲/▼をくり返し押して「Sub Genres」を選択し、SELECTボタンを押します。

```
iNet Radio [SubGnrs]
^ >Classical
v [1 of 5]
Display:    ✔Stations
```

カーソル▲/▼をくり返し押して聞きたい番組を選択します。

```
iNet Radio [Station]
^  WCHY FM
v [1 of 5]
Display:        ✔Play
```

・Location（国名および地域名）を選んだとき

カーソル▲/▼をくり返し押して希望の地域を選択し、SELECTボタンを押します。

```
iNet Radio[Location]
^ >United States
v [1 of 5]
Display:    ✔Stations
```

カーソル▲/▼をくり返し押して聞きたい番組を選択します。

```
iNet Radio [Station]
^  WCHY FM
v [1 of 5]
Display:        ✔Play
```

・Language（言語）を選んだとき
カーソル▲/▼をくり返し押して希望の言語を選択し、SELECTボタンを押します。

```
iNet Radio [Language]
^ >English
v [1 of 5]
Display:   ↵Stations
```

カーソル▲/▼をくり返し押して聞きたい番組を選択します。

```
iNet Radio [Station]
^  WCHY FM
v [1 of 5]
Display:       ↵Play
```

4. インターネットラジオを受信する

SELECTボタンを押してインターネットラジオの受信を開始します。

```
iNet Radio
^ WCHY FM
v Buffering 10%
Display: [◀]⊟ ◷
```

ラジオデータをバッファリングし始め、完了したらインターネットラジオの受信が始まります。
バッファリングが完了するのに数十秒かかる事があります。

ヒント

インターネットラジオの発信側で問題があった場合「Stream Access Error」と表示されます。その他のエラーメッセージは82ページを参照してください。

本機で受信できるのは専用ポータルサイトに登録されている局のみです。

インターネットラジオ局をプリセットする

お気に入りのインターネットラジオ局をプリセットメモリーすることができます。一度プリセットメモリーするとリモコンのプリセット▲または▼ボタンで簡単に受信する事ができます。20局まで登録することができます。

ご注意

電源コードを抜いたり停電状態が2週間以上続くと、プリセットされていた放送局や文字などは消えることがあります。その場合は、再度プリセットしてください。

1. 希望の放送局を受信する

```
iNet Radio
^ WCHY FM
v
Display: [◀]⊟ ◷↵Store
```

2. SELECTボタンを押す

名前入力表示になります。

```
Name iNetR Preset
     WCHY FM■
v[+]A B C D E F G H
Display:Caps ⌘OK ↵[]
```

名前を変更する必要がない場合はSETUPボタンを押し、手順6に進みます。

3. DISPLAYボタン、またはリモコンの「文字」ボタンを押して入力する文字の種類を選ぶ

DISPLAYボタンを押すごとに以下のように3種類の文字列が切り換わります

アルファベット：ABC・・YZabc・・xyz
↓
カタカナ：アイウエオ・・・〜「」、。
↓
数字/記号：123・・!"#＄%&・・・

文字を表示しているとき、カーソル▲または▼を押すと前後の文字候補が切り換わります。

```
Name iNetR Preset
     WCHY FM■
v[+]A B C D E F G H
Display:Caps ⌘OK ↵[]
```

リモコンで入力する場合：
「文字」ボタンを押すと、文字の種類が切り換わります。

4. カーソル◄/►をくり返し押して入力したい文字を選び、SELECTボタンを押して記憶させる

```
Name iNetR Preset
    WCHY FM▦
⌄ ✣ A B C[D]E F G H
Display:Caps ⌘OK ✔[]
```

文字入力をくり返して合計32文字まで記憶させることができます。

```
Name iNetR Preset
    WCHY FMD▦
⌄ ✣ A B C[D]E F G H
Display:Caps ⌘OK ✔[]
```

リモコンで入力する場合：
「文字」ボタンを押して、希望する文字列を選んでください。

●アルファベットを入力するには
アルファベット文字列を選択し、数字ボタンを押すごとに、ボタンの上に記載されている文字が切り換わります。
たとえば②ボタンは押すごとにA→B→C→a→b→c→Aと切り換わります。次の文字を入力したい場合は、►►ボタンを押してください。

●カタカナを入力するには
アルファベット文字列を選択し、数字ボタンを押すごとに、ボタンの上に記載されている文字が切り換わります。
たとえば①ボタンは押すごとに「ア→イ→ウ→エ→オ→ァ→ィ→ゥ→ェ→ォ→ア」と切り換わります。次の文字を入力したい場合は、►►ボタンを押してください。

●数字を入力するには
数字/記号を選択し、数字ボタンを押します。

● 記号を入力するには
アルファベット文字列を選択し、1、＊、0、#から希望の記号を表示させてください。
「1」： ' " ( ) < > [ ] { }
「＊」： . @ - _ / : , ; 〜 ＊
「0」： ? ! + = & % # ¥ $
「#」： （スペース）
次の文字を入力したい場合は、►►ボタンを押してください。

ヒント

文字を消すときは、各文字列の最初にある✣を選びSELECTボタンを押すか、リモコンの**クリア**ボタンを押してください。間違えた文字に戻りたいときは、◄◄ボタンで戻ることができます。

5. SETUP（セットアップ）ボタンを押す

プリセット番号が表示されます。
全てのプリセット番号が使用されていている場合はプリセット番号1が表示されます。

```
Store: WCHY FMD
^ >iNetR Preset 1
⌄ []
✔Set           ⌘Exit
```

6. プリセット番号を選ぶ

カーソル▲/▼をくり返し押して希望のプリセット番号を選びます。

7. SELECTボタンを押して放送局を記憶させる

選択したプリセット番号がすでに使用されている場合は新しい放送局が上書きされます。

```
iNet Radio      P-01
^ WCHY FMD
⌄
Display: [◀]▤ 0✔Store
```

プリセットした放送局を聞く

1. NC-500Xの入力を「iNet　Radio」にする

本体のAUDIO INPUTボタンまたはリモコンのiNet RADIO ボタンを押して「iNet Radio」と表示させます。

2. リモコンのPRESET ▲/▼ボタンで直接プリセット局を選択する。

```
iNet Radio       P-01
^ Preset 1
v WCHY FMD
Display:[ ]  Store
```

ラジオデータをバッファリングし始め、完了したらインターネットラジオの受信が始まります。

バッファリングが完了するのに数十秒かかることがあります。

表示部の情報を切り換える

カーソル▲/▼を押すと、放送局によっては情報が切り換わることがあります。

（例）

プリセット局につけた名前を変更する

インターネットのプリセット局につけた名前を変更します。

1. SETUPボタンを押して設定項目を表示させる

2. カーソル▲/▼をくり返し押して「iNet Radio」を表示させる

SELECTボタンを押します。

3. カーソル▲/▼を押して「Rename Preset」を表示させる

SELECTボタンを押します。

4. カーソル▲/▼を押して名前を変更したいプリセット局を選択する

```
iNet Radio   [Rename]
^  Preset 1
v  WCHY FMD
        Sel   Exit
```

SELECTボタンを押します。

5. ◄◄ または ►► を押して変更したい箇所まで点滅を移動させる

6. カーソル◄または►で新しい文字を選ぶ

SELECTボタンを押すと新しい文字に置き換わります。
取り消すには、**クリア**ボタンを押します。
他に変更したい文字があるときは、手順5、6をくり返します。

7. SETUPボタンを押して変更登録する

元の表示に戻るにはSETUPボタンを押してください。

プリセットしたインターネットラジオ局を消去する

メモリーしたインターネットラジオのプリセット局を削除します。

1. **SETUPボタンを押して設定項目を表示させる**

2. **カーソル▲/▼をくり返し押して「iNet Radio」を表示させる**

SELECTボタンを押します。

3. **カーソル▲/▼を押して「Delete Preset」を表示させる。**

```
iNet Radio    [Setup]
^ >Delete Preset
v
                 Exit
```

SELECTボタンを押します。

4. **カーソル▲/▼を押して削除したいプリセット局を選択する**

```
iNet Radio   [Delete]
^  Preset1
v  WCHY FMD
        Del    Exit
```

SELECTボタンを押します。
プリセットした放送局が削除されます。

元の表示に戻るにはSETUPボタンを押してください。

インターネットラジオの音楽フォーマット

MP3およびWMA形式を再生できます。

アラーム（タイマー）機能を使う

下図の流れはアラーム設定時の画面の遷移を示しています。

SETUP
(System)
Clock
カーソル▲/▼
Server
カーソル▲/▼
iNet Radio
カーソル▲/▼
FM Radio
カーソル▲/▼
AM Radio
カーソル▲/▼
System
(Clock)

SELECT
(Made [XX hour])
Alarm On/Off
カーソル▲/▼
Set Alarm
カーソル▲/▼
Set Clock
カーソル▲/▼
Made [XX hour]
(Alarm On/Off)

SELECT
Alarm Time
SELECT
時刻設定（26ページ）
カーソル▲/▼
Alarm Source

SELECT
（AMラジオ）
サーバー
カーソル▲/▼
iNetRadio
カーソル▲/▼
FMラジオ
カーソル▲/▼
AMラジオ
（サーバー）

SELECT
（プレイリスト）
アルバム
カーソル▲/▼
アーティスト
カーソル▲/▼
ジャンル
カーソル▲/▼
プレイリスト
（アルバム）

SELECT
プリセット局
SELECT
プリセット局
SELECT
プリセット局

アラーム機能

設定した時刻になると設定した機器が再生します。
アラーム機能は電源がスタンバイ状態以外の時はアラーム予約時刻になってもアラームは動作しません。アラーム動作させるときには、必ず電源をスタンバイ状態にしておいてください。

1. SETUP(セットアップ)ボタンを押して「Clock(クロック)」を表示させる

2. SELECT(セレクト)ボタンを押します

3. カーソル▲/▼をくり返し押して「Set Alarm」を表示させる

SELECTボタンを押します。

```
Clock            [Setup]
^ >Set  Alarm
v
                    ⌘Exit
```

4. アラーム開始時刻を設定する

① カーソル▲/▼を押して「Alarm　Time」表示させる
SELECTボタンを押します。

```
Clock     [Set Alarm]
^ >Alarm Time
v
                  ⌘Exit
```

② カーソル▲/▼をくり返し押してアラーム開始時間を設定する

```
Clock    [Alarm Time]
    12:00 AM  Hours>

^vAdjust ✔Set  ⌘Exit
```

③ カーソル►を押して「Min」を表示させ、カーソル▲/▼を押して分を設定する

```
Clock    [Alarm Time]
     8:00 AM  Mins >

^vAdjust ✔Set  ⌘Exit
```

④ 時刻表示が12時間表示の場合はカーソル►を押して「AM/PM」を表示させる
カーソル▲/▼を押して「AM」または「PM」を選びます。

```
Clock    [Alarm Time]
     8:30 AM  AM/PM>

^vAdjust ✔Set  ⌘Exit
```

⑤ SELECTボタンを押して確定する

アラーム開始時刻を設定すると、次の表示になります。

```
System    [Set Alarm]
^ >Alarm Time
v   [ 8:30 AM]
                  ⌘Exit
```

5. アラーム再生機器を設定する

① カーソル▲/▼を押して「Alarm　Source」を表示させる
SELECTボタンを押します。

```
Clock     [Set Alarm]
^ >Alarm Source
v
                  ⌘Exit
```

② カーソル▲/▼をくり返し押してアラーム再生機器を選択する

```
Clock  [Alarm Source]
^ >FM Radio
v
                 ⌘Exit
```

選択できる再生機器はパソコン（Server）、インターネットラジオ（iNet Radio）、FM/AMラジオ（FM Radio、AM Radio）です。インターネットラジオおよびFM/AMラジオはあらかじめプリセットしておいてください。

③ 手順2でパソコンを選択した場合は曲を、AM/FMラジオ、インターネットラジオを選択した場合はプリセット局を指定する

パソコンを選択した場合：
カーソル▲/▼をくり返し押して再生する曲を選択します。（ランダム再生、リピート再生はできません）

インターネットラジオを選択した場合：
カーソル▲/▼をくり返し押して希望のプリセット局を選択します。

FMまたはAMラジオを選択した場合：
カーソル▲/▼を押して希望のプリセット局を選択します。

④ SELECTボタンを押して設定を確定します。

6. SETUPボタンを押して元の表示にします。

ご注意

パソコンおよびインターネットラジオをアラームの再生機器として選択している場合：
Net-Tune® Centralが起動していない、パソコンの電源が入っていない等の理由で、再生ができなかった場合には、最後に設定されていたFMもしくはAM局が自動的に再生されます。

7. STANDBY（スタンバイ）/ON（オン）ボタンを押してスタンバイ状態にする

電源が入っているとアラーム機能は働きません。

アラーム設定時の表示

```
          [Alarm Set]
     10:17 AM
 September 1 2002
```

アラーム機能のONとOFFを切り換える

アラーム機能のONとOFFを切り換えます。

1. SETUPボタンを押して「Clock」を表示させる

2. SELECTボタンを押します。

3. カーソル▲/▼をくり返し押して「Alarm On/Off」を表示させる

SELECTボタンを押します。

4. カーソル▲/▼をくり返し押して「On」または「Off」を選択する

```
Clock  [Alarm On/Off]
^   On
⌄
            Set  Exit
```

5. SELECTボタンを押して設定を確定する

元の表示に戻るにはSETUPボタンを押してください。

起動しているアラームを止める

アラームが起動しているとき、STANDBY/ONボタンを押すとスタンバイ状態になり、アラームを止めることができます。
（翌日の設定した時刻になると、再び起動します。）

スヌーズ機能

アラームを一旦止めても5分後に再びアラームが起動する機能です。
アラーム起動中に本体またはリモコンのSELECTボタンを押すと、アラームが一時的に停止し、スタンバイ状態になります。
５分後に再びアラームが起動します。

スリープタイマー 機能

設定した時間が経つとスタンバイ状態になります。
スリープ機能はリモコンのみで有効です。

リモコンのSLEEP（スリープ）ボタンを押して、スタンバイ状態になるまでの時間を設定する

「Sleep 90 Min」が表示され、90分後にスタンバイ状態になる設定になります。ボタンを押すたびに10分単位で設定時間が短くなります。

- スリープタイマー設定中は、[Sleep]が表示されます。
- カーソル▲/▼で１分単位の設定ができます。

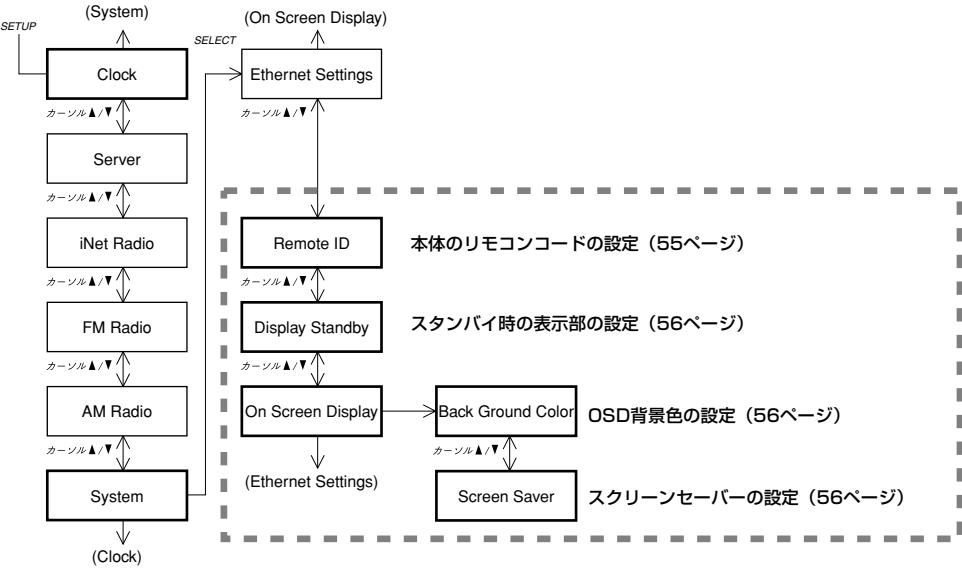
```
  Sleep 90 Min
```

残り時間を確かめるには：
スリープタイマーが予約されているときにSLEEPボタンを押すとスタンバイ状態になるまでの残り時間が表示されます。

SLEEPタイマーを解除するには：
「Sleep」表示が消えるまでくり返しSLEEPボタンを押すか、一度スタンバイ状態にしてから再度電源を入れてください。

その他の設定

お客様の機器の設置状況やお好みに合わせて、色々な設定ができます。

設定の流れ

本体のリモコンコードを変更する

本機が他のオンキヨー製品と同じ部屋にある場合、リモコンの操作コードが重複してしまう事があります。他のオンキヨー製品と区別をつけるためにリモコンコードを変更する事ができます。

1. **SETUPボタンを押して設定項目を表示させる**

2. **カーソル▲/▼をくり返し押して「System」を表示させる**

SETUPボタンを押します。

3. **カーソル▲/▼を押して「Remote ID」を表示させる。**

SELECTボタンを押します。

4. **カーソル▲/▼をくり返し押してリモコンコードを変更します。**

SELECTボタンを押して確定します。

ご注意

リモコン側も本体と同じリモコンコードに設定する必要があります。
工場出荷時は、本体、リモコンとも3に設定されています。

リモコンのリモコンコードを変更する

本機が他のオンキヨー製品と同じ部屋にある場合、本機のリモコンの操作によって他の製品を作動させてしまう場合があります。他のオンキヨー製品と区別をつけるためにリモコンコードを変更することができます。

リモコン側のリモコンコードを変更するには、STANDBYボタンを押したままSELECTボタンを押し、同時に離します。指を離して3秒以内に数字キーを使用してリモコンコード（1、2、3のいずれか）を入力します。工場出荷時は本体、リモコンとも3に設定されています。

リモコンの電池をしばらく抜いたままにしておくと、リモコンのリモコンコードが初期設定の3に戻りますのでご注意ください。

スタンバイ時の表示部の明るさを設定する

スタンバイ時の表示部の明るさが設定できます。

1. SETUPボタンを押して設定項目を表示させる

2. カーソル▲/▼をくり返し押して「System」を表示させる

SETUPボタンを押します。

3. カーソル▲/▼を押して「Display Standby」を表示させる。

```
System          [Setup]
^ >Display Standby
v    [Dim]
                  Exit
```

SELECTボタンを押します。

4. カーソル▲/▼をくり返し押して表示部の明るさを設定します。

Bright: 明るい
Dim: 暗い
Off: 消灯

SELECTボタンを押して確定します。

元の表示に戻るにはSETUPボタンを押して

OSDの背景色を変更する

OSDの背景をお好みの色に変えることができます。複数のNC-500Xをお使いの場合はそれぞれに色を変えると便利です。

「System」→「On Screen Display」からカーソル▲/▼を使って「Background Color」を選択し、SELECTボタンを押します。

カーソル▲/▼を使ってお好みの色に設定します。以下の7色から選択できます。：Blue1、Blue2、Green1、Green2、Magenta、Red1、Red2

```
System  [Background]
^   Blue 1
v
           Set   Exit
```

スクリーンセーバーになる時間を設定する

「System」→「On Screen Display」からカーソル▲/▼を使って「Screen Saver」を選択し、SELECTボタンを押します。

カーソル▲/▼を使ってお好みの時間に設定します。Offまたは1～60分まで設定できます。

```
System[Screen Saver]
^   Off
v
             Set  Exit
```

元の表示に戻るにはSETUPボタンを押してください。

Net-Tune® Centralをインストールする

特長

■LAN上で配信可能な、ミュージックライブラリ・サーバー機能

本ソフトウェア（Net-Tune® Central）が動作しているパソコンの音楽ファイルを、LAN を通じて配信し、Net-Tune® クライアント機能を搭載したオンキヨー製レシーバーで演奏することができます。
1サーバにつき3クライアントへの同時配信が可能です。
音楽のネットワーク配信には、標準的なネットワークプロトコルTCP/IP をベースにしたオンキヨーが独自に開発したNTSP プロトコルを採用し、高い操作レスポンスを実現しています。
音楽配信サーバー機能に加え、パソコンに保存されている音楽ファイルを自動的に検索し、簡単にNet-Tune® Central に取り込むことができます。
本ソフトウェアのミュージックライブラリ機能は、以下のいずれの音楽フォーマットにも対応しています。

- 非圧縮で高音質な音楽フォーマットであるWAVE（PCM）
- 圧縮フォーマットでファイルサイズが小さく高音質なMP3
- Microsoft®社が開発した、MP3に劣らない音質でMP3よりも高い圧縮フォーマットであるWMA

  * ただし、通常のコンテンツ保護されていないWMAのみです。Windows Media Player ver.9のコピーのファイル形式には、通常のWindows Media オーディオに加え、Windows Mediaオーディオ（可変ビットレート）、Windows Media オーディオ可逆圧縮が追加されています。NC-500Xでは、Windows Media オーディオ可逆圧縮のフォーマットのファイルは再生できません。使用しないでください。

■ミュージックライブラリ編集機能

パソコンに保存されている音楽の曲名、アーティスト名等の編集、ジャンルの作成や編集をすることができます。

■ネットチューンコントローラーパネル

パソコン側からNC-500Xを操作することができます。再生、停止、音量調整はもちろん、インターネットでダウンロードした曲をドラッグ＆ドロップするだけでNC-500Xで再生することができます。

必要なシステム構成

最低限必要なパソコンシステム

- Intel® Pentium® Ⅲ 600MHz 以上のCPU
- Windows®2000 Professional, XPのいずれかのOS（オペレーティングシステム）
- メモリ128MB以上 (Windows®2000 Professionalの場合)、256MB 以上(Windows® XPの場合)
- 20MB以上のハードディスク空き容量

  * 音楽ファイル用に別途空き容量が必要になります。MP3/WMA形式で1分につき約1MB、WAVE形式で1分につき約10MBの空き容量が必要になります。
- Ethernetインターフェース
- High Color (16ビットカラー)、解像度800x600以上のディスプレイ
- サウンド機能

  * Windows2000で使用する場合、Windows Media Player7以上がインストールされている必要があります。

Windowsについて

Windows日本語版が現在の状態で正しく起動できることを確認してください。

本製品をお使いいただくにあたって

本製品をお使いいただくにあたり、下記注意事項をお読みいただき、正しくお使いください。

- 本書は、特に断りのない限り、Windows XPの操作をもとに書かれています。
- 本書は、マウスやキーボードの使用方法など、Windowsの基本的な操作についてすでにご存知であることを前提に書かれています。
- 本製品を運用した結果の影響については一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品の故障、誤操作、不具合により生じた損害などの純粋経済損失については、その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本書の内容は、将来、予告なく変更されることがあります。
- 本書の一部または全部を無断で貸し出し、転載することは固くお断りします。

ソフトウェア使用許諾契約について

本ソフトウェアをセットアップ（インストール）する前に必ずお読みください。
本ソフトウェアをセットアップ（インストール）すると、本契約の内容を承諾したことになります。
本契約の内容に同意できない場合は、ソフトウエアのセットアップ（インストール）を行わないでください。

使用許諾契約書
本使用許諾契約書（以下、本契約書）は、オンキヨー株式会社（以下、弊社）が提供するソフトウェアと、それに付属するマニュアルなどの資料に関する使用条件を定めるものです。
なお、本契約は、本契約条件に従う場合に限り、（以下に定める）本ソフトウェアの使用を許諾するものであって、本ソフトウェアを販売するものでも、本ソフトウェアに関するその他のあらゆる権利について許諾するものでもありません。
また、本契約により付与される権利は、本ソフトウェアにおける弊社の知的財産権に限定されるものであって、その他のいかなる権利を含むものではありません。

第1条　（定義）
1. 「本ソフトウェア」とは、本契約書とともに提供されるソフトウェア（製品名「Net-Tune® Central」ライセンス数1）、ヘルプファイルなどの使用方法を説明したデータなどデジタル情報の一部または全部を指します。なお、本ソフトウェアに含まれる第三者の著作権に関しても、本契約書が適用されます。
2. 「関連資料」とは、本契約書とともに提供されるマニュアルなどの資料を指します。
3. 「お客様」とは、本契約とともに提供された本ソフトウェアをダウンロードし本契約書に同意いただいた個人または法人を指します。

第2条（使用条件）
1. お客様は、本ソフトウェアに対応する弊社製品をご購入いただいた方に限り、本ソフトウェアをコンピュータにセットアップ（インストール）してご使用いただけます。
2. お客様のうち特定のただ一人が使用するコンピュータが複数ある場合には、特定の個人ただ一人が使用するコンピュータに限り複数セットアップすることができます。
3. 本契約書は、本ソフトウェアの不具合修正などの目的で改訂したソフトウェアに対しても適用されるものとします。ただし、改訂されたソフトウェアと改訂前のソフトウェアは同一のコンピュータにセットアップされている場合に限ります。

第3条（制限）
お客様は、下記の項目を行うことはできません。
1. 本契約書に定めのない、複数コンピュータへのセットアップ（インストール）または複製（コピー）。
2. 関連資料の複製（コピー）。
3. 本ソフトウェアに含まれるプログラムの改変またはカスタマイズ、リバースエンジニアリング。
4 本ソフトウェアの第三者への再配布、再使用許諾。
5. 本ソフトウェア（複製物を含む）の貸与（レンタル）、疑似レンタル、販売、譲渡。
6. 本ソフトウェアをネットワークコンピュータやサーバーから第三者が複製またはダウンロードできる状態にしておくこと。

前項までの規定は、本ソフトウェアを改訂した製品にも継続して適用されます。

第4条（保証範囲）
1. 弊社は、本ソフトウェアの機能がお客様の使用目的と適合することを保証するものではありません。弊社は、本製品の物理的瑕疵について保証するものであり、本ソフトウェアまたは関連資料の使用または使用不能から生ずる直接的または間接的被害については一切責任を負いません。
2. 弊社は、本ソフトウェアを使ってお客様が行ったいかなる行為についても、その責任を負いません。

第5条（期間）
1. 本契約は、本契約が成立した時点、すなわち本ソフトウェアをセットアップ（インストール）した時点に始まり、お客様が本ソフトウェアの使用を停止するまで有効とします。お客様は、本ソフトウェアの使用を停止した時点で、本ソフトウェアおよび関連資料の一切を破棄するものとします。
2. お客様が本契約書に違反した場合は、本契約を解除してお客様の本ソフトウェアの使用を停止させることができます。弊社が、本ソフトウェアの停止を通知した場合には、お客様は速やかに本ソフトウェアおよび関連資料の一切をお客様の費用負担で破棄するものとします。

第6条（一般条項）
本契約書に関して生じた紛争については、大阪地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とします。

Net-Tune® Centralをインストールする前に

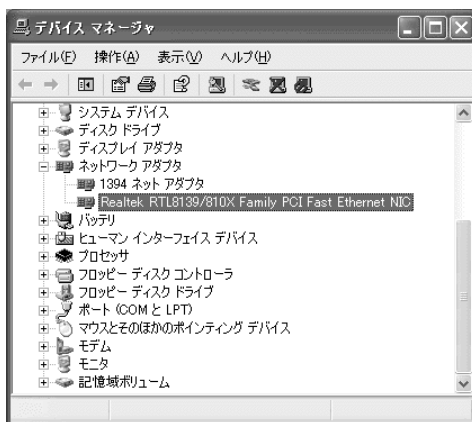
ここでは、ネットワークアダプタや、ネットワークの設定を確認します。

1. デバイスマネージャをひらく

＜Windows XPの場合＞

1. 「スタート」→「コントロールパネル」を選択します。
2. ［パフォーマンスとメンテナンス］をクリックします。
3. コントロールパネルの［システム］をクリックします。
4. 「システムのプロパティ」ウィンドウで、「ハードウェア」タブを選択します。
5. ［デバイスマネージャ］ボタンをクリックします。

＜Windows 2000 Professionalの場合＞

1. 「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」→「システム」を開きます。
2. 「ハードウェア」タブを選択します。
3. ［デバイスマネージャ］ボタンをクリックします。
   コンピュータに接続されているデバイス一覧が表示されます。

上記の画面は、Windows® XPの画像です
※ 画面は、パソコンの設定や状況によって順番等が異なる場合があります。

2. ネットワークアダプタの項を確認します。

ネットワークアダプタの + をクリックして、ネットワークアダプタが正常に登録されていることを確認してください。
ネットワークアダプタの項目にデバイスが正常に登録されていない場合は、ネットワーク・インターフェースカードの接続の確認、および正しいデバイスドライバがインストールされているか確認してください。

3. 確認したら、右上の × をクリックしてデバイスマネージャ、システムのプロパティのウインドウと順に閉じ、コントロールパネルの画面まで戻ります。

4. ネットワーク設定を確認する

Net-Tune® CentralはTCP/IPプロトコルで本機と通信するため、TCP/IPプロトコルが必要です。また本機がNet-Tune® Centralが動作しているコンピュータを識別するためにはMicrosoftネットワーククライアント機能が必要になります。

システムのプロパティからインターネットプロトコル(TCP/IP)を開きます。

1. コントロールパネル画面から「ネットワークとインターネット接続」をクリックします。
2. 「ネットワーク接続」をクリックします。
3. ローカルエリア接続アイコンを右クリックしてプロパティを選びます。
4. プロパティの画面で、「Microsoftネットワーク用クライアント」「インターネットプロトコル(TCP/IP)」の二つの項目が正しくインストールされていることを確認します。
5. Windows XPの場合は、次の手順も行ってください。

   Windows 2000 Professionalの場合は、右上の☒をクリックして順に画面を閉じてください。

上記の画面は、Windows® XPの画像です。

5. TCP/UDPポートによる通信を可能にする（WindowsXPのみの操作です）

TCP/UDPポートによる通信を可能にするため、以下の設定を行います。

ファイアウォール機能を無効にする

ローカルエリア接続のプロパティから「詳細設定」のタブを選択します。

「インターネット接続ファイアウォール」内のチェックボックスにチェックが入っている場合は、チェックを外してください。

なお、インターネットからの不正アクセスに対する防御は、ルーターで行うこともできます。ルーターの不正アクセス防御機能の設定については、ルーターの取扱説明書を参照してください。

ヒント

TCP/UDPポートを設定する方法でTCP/UDPポートによる通信を可能にすることもできます。その場合は78ページをご覧ください。

6. パソコンを再起動します。

コンピュータの名前を確認する

本機がNet-Tune® Centralが動作しているコンピュータを識別するためには、コンピュータの名前が設定されている必要があります。Net-Tune® Centralを動作させるパソコンのコンピュータ名を確認してください。

1.「システムのプロパティ」ウィンドウから「コンピュータ名」タブを選択します。
2.「フルコンピュータ名」の欄が、NC-500Xが識別するコンピュータの名前です。
   コンピュータ名を変更するには、「変更」ボタンをクリックしてください。

Net-Tune® Centralを起動させたあとに設定することもできます。76ページをご覧ください。

上記の画面は、Windows® XPの画像です。

インストールする

動作環境を確認したら、Net-Tune® Centralのセットアップをはじめましょう。

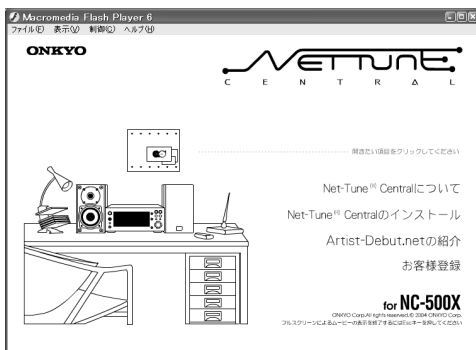
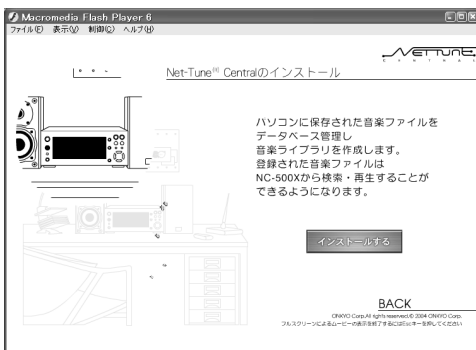
ご注意

- 他のアプリケーションが起動しているときは、すべて終了させてください。
- ここでは、Windows XPの画面で説明します。その他のOSでも操作手順は同じです。
- すでに他のバージョンのNet-Tune® Centralをご使用の場合は、本セットアップを始める前にアンインストールしてください。（64ページ参照）

1. 製品に付属のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。

画面が現れるまで少しお待ちください。
画面が現れない場合は、CD-ROMドライブのアイコンをダブルクリックしてください。

2. ［Net-Tune(R) Centralのインストール］をクリックします。

フル画面をやめるにはEscキーをクリックしてください。

3. ［インストールする］をクリックします。

4. 「Net-Tune Centralセットアップウィザードへようこそ」の画面が表示されますので、［次へ］をクリックします。

5. 使用許諾契約を確認します。

使用許諾契約書をお読みいただき、内容に同意いただける場合、「同意します」を選択し、「次へ」ボタンを押してください。

6. インストール先を選択します。

「参照」からインストール先を選択し、「次へ」ボタンを押してください。

7. インストールを確認します。

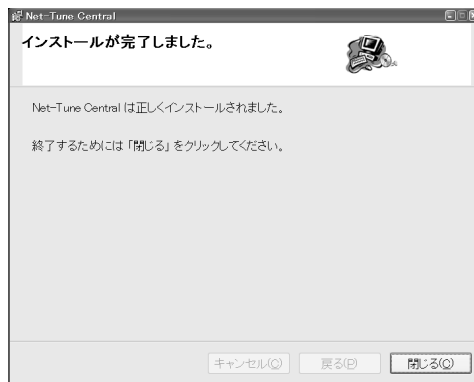
Net-Tune® Centralをインストールする準備ができました。
「次へ」ボタンを押すと、インストールが始まります。

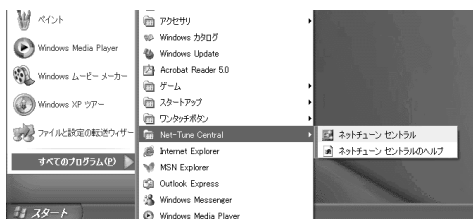
8. インストールを開始します。

インストールが始まります。インストールが正常に完了すると、手順9の画面が表示されます。

9. セットアップが完了します。

Net-Tune® Centralのセットアップが完了しました。「閉じる」ボタンを押してください。

CD-ROMを入れたときに現れる画面で、他のメニューをご利用いただくことができます。ご覧になりたい項目をクリックしてください。
戻るときは右下の［BACK］をクリックします。

Net-Tune® Centralを起動する

Net-Tune® Centralのインストールが正常に完了すると、スタートメニューに「Net-Tune Central」フォルダが作成されます。
Net-Tune® Centralを起動するには、「スタート」→「すべてのプログラム」→「Net-Tune Central」→「ネットチューン セントラル」を選択してください。
起動すると、タスクバーにNet-Tune® Centralのアイコンが表示されます。

アンインストール（削除）するには

1. **Net-Tune® Centralが起動していないことを確かめます。**
   起動しているときは、タスクトレイのアイコンを右クリックしてメニューから「終了」を選んでください。
2. **［スタート］→［コントロールパネル］をクリックします。**
3. **［プログラムの追加と削除］をクリックします。**
4. **［Net-Tune Central］をクリックします。**
5. **［変更と削除］（もしくは「追加と削除」、「削除」などが表示されます）をクリックします。**
6. **確認のメッセージが出ますので、［OK］（もしくは「はい」）をクリックします。**
7. **［完了］（もしくは「OK」）をクリックします。**

Net-Tune® Centralを使いこなす

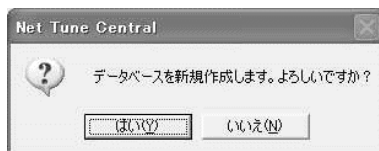
ミュージックデータベースを作る

Net-Tune® Centralは、パソコン内部にある音楽ファイルを検索し、自動的に音楽配信サーバー動作に必要なデータベースライブラリを作成します。使用するにあたっては、必ず一度は作成する必要があります。
データベースで扱うことができる音楽フォーマットは、下記のようになっています。

フォーマット	ビットレート	サンプリング周波数
WAVE(PCM)	----	32k/44.1k/48kHz
MP3	すべて	32k/44.1k/48kHz
WMA	32/36/40/44/48/64/80/96/128/160/192bps	32k/44.1k/48kHz

1. Net-Tune Centralを起動します。

「スタート」→「すべてのプログラム」→「Net-Tune Central」→「ネットチューンセントラル」を選択します。初めて起動したときは、自動的に右図のウィンドウがパソコンの画面上に現れるので「はい」をクリックします。
「いいえ」を選択すると、ダイアログボックスが消えます。あとからデータベースを作成するときは、タスクトレイのアイコン()をクリックして「データベース作成」を選んでください。

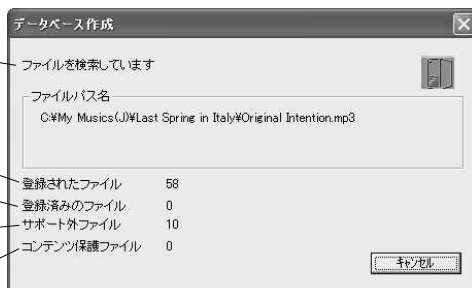
ヒント

以前に他のバージョンのNet-Tune® Centralをお使いになり、データベースを作成されたことがある場合、このダイアログボックスは表示されません。

2. 「データベース作成の設定」画面で、音楽ファイルの入っているフォルダを選びます。

[参照]ボタンからパソコン内の音楽ファイルを検索する場所を選んだら、[追加]ボタンをクリックします。「検索するパス名」のところにフォルダが表示されます。何も指定しない場合は、「C:¥Program Files¥Net-Tune Central」を検索します。

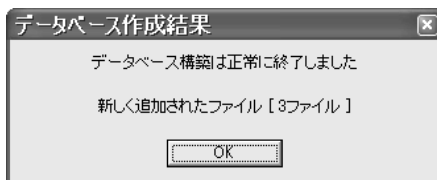
削除したい場合は、「検索するパス名」の表示から削除したいフォルダを選び、[削除]ボタンをクリックします。
また、作業を途中で中止したい場合は[キャンセル]ボタンをクリックします。

3. [スタート]をクリックします。

ミュージックデータベースの作成を開始します。
Net-Tune® Centralは、WAVE(PCM)、WMA、MP3の音楽ファイルが録音されているフォルダ名、WMA/MP3のID3タグ情報等を参考にして、指定したフォルダ内から音楽ファイルを拾い出し、データベースを作成します。

作業を途中で中止したい場合は[キャンセル]ボタンをクリックします。

指定したフォルダの下にさらにフォルダがある場合は、それらのサブフォルダもすべて検索対象になります。曲が入っていないフォルダを選ばないようにすれば、検索時間を短くすることができます。

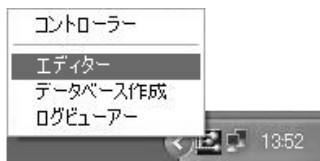
4. データベース作成が終了すると、下記のような画面が表示されます。

[OK]をクリックして終了します。

コンテンツ保護(WMA)について
Windows Media Player等を使用してCDをパソコンに録音する場合に、コンテンツ保護設定で作成されたWMAファイルはそのマシン環境でのみ再生可能となっており、他のパソコンでの再生やデジタルでの変換コピー処理が不可となっています。この状態でWMAファイルを作成した場合、再生機器は一種の別コンピュータとして扱われ、再生することができません。
しかし、Net-Tune®システムのように、お使いになられる環境が個人的な使用に限定される場合、この設定をコンテンツ保護機能をOFFにすることによって、WMAを利用することが可能です。パソコンに録音する前に、設定をご確認いただきますようお願いいたします。

ミュージックデータベースを編集する

作成したデータベースを、必要に応じて次のような編集をすることができます。

1. Editor画面を表示します。

タスクトレイのアイコンをクリックして「エディター」を選んでください。
タスクトレイにアイコンがない場合は、Net-Tune® Centralを起動してください。

2. 「Editor ［xxxxxxxx］」画面にタイトルやアルバム、アーティスト名などが表示されます。

下記の画面は、左のカテゴリで[○All]を選んだ場合です。右側の欄には、データベースのすべての曲が表示されています。
一覧表示で“うす紫色”で表示されている曲は、曲名、アルバム名、アーティスト名のいずれかが空欄になっているものです。このような場合は、Net-Tune®対応の再生機器では“No Title”、“No Album”、“No Artist”の表示となります。
また、全角文字は、Net-Tune®対応の再生機器では表示できません。

左から順に、トラック番号(Tr)、曲名(Title)、アルバム名(Album)、アーティスト名(Artist)、ジャンル(Genre)、演奏時間(Time)、ファイル名(FileName)、識別番号(Id)を表示します。

All、Album、Artist、Genre、Playlistの左にある○をダブルクリックすると、それぞれの分類の下にある曲をすべて表示したり省略したりできます。

All: 右欄にすべての曲を表示するときにクリックします。

Album: データベース上にあるデータのアルバム名を表示しています。あるアルバム名をクリックすると、右欄にはそのアルバムに入っている曲を表示します。

Artist: データベース上にあるデータのアーティスト名を表示しています。あるアーティスト名をクリックすると、右欄にはそのアーティストの曲を表示します。

Genre: データベース上にあるデータのジャンル名を表示しています。あるジャンル名をクリックすると、右欄にはそのジャンルの曲を表示します。

Playlist: データベース上にあるプレイリスト名を表示しています。あるプレイリストをクリックすると、右欄にはそのプレイリストに入っている曲を表示します。プレイリストの作り方については71ページをご覧ください。

3. 編集したい曲の上にアイコンを合わせてダブルクリックすると、編集画面が現れます。

「タイトル」、「アーティスト」、「アルバム」、「ジャンル」の項目に、Net-Tune® Centralで管理するときにわかりやすい名前をつけてください。ここでの編集内容は、実際のファイルにタグ情報としての書き込みは行われません。
「タイトル(半角)」、「アーティスト(半角)」、「アルバム(半角)」、「ジャンル(半角)」の項目は再生機器の画面で表示されるときの文字列です。この欄には、英字、カナ、数字等の半角文字を用いて入力してください。

ファイル名は編集できません。

実際のファイルからタグ情報を読み込むときにクリックします。読み込みを行う内容を、あらかじめ空欄にしてから実行してください。

ウィンドウズメディアプレーヤーなど、関連付けされたプレーヤーを起動し編集中の曲の確認をすることができます。

編集した内容を確認したあと、クリックすると、再度確認の表示が出ます。[OK]をクリックします。

編集作業を取り消したいときにクリックします。

4. 編集した内容を確認したら、クリックします。

再度確認の表示が出るので[OK]をクリックすると、元のEditor画面に戻ります。

曲を個別にデータベースへ登録・削除する

必要に応じて、一曲単位で曲の登録をしたり削除することができます。

登録する場合

1. **Editor画面のツールバーの「編集」から「既存ファイルの追加」をクリックします。**

   Editor画面の編集メニュー上で右クリックする、もしくは右項目の一番下の<既存ファイルの追加>をダブルクリックして表示させることもできます。

2. **[参照]ボタンをクリックし、ファイルを選びます。**

   前ページ手順3と同じ要領で編集します。

3. **編集した内容を確認したら、クリックします。**

   再度確認の表示が出るので[OK]をクリックすると、元のEditor画面に戻ります。

削除する場合

1. **Editor画面から削除する曲をクリックします。**

   濃い青色になります。

2. **Editor画面のツールバーの「編集」から「項目の削除」をクリックします。**

   Editor画面の編集メニュー上で右クリックして表示させることもできます。

3. **確認画面が表示されますので、削除する場合は[OK]をクリックします。**

   削除を中止するときは[キャンセル]をクリックします。

データベースをチェックする

一度データベースを作っても、長く使っているうちにデータファイルの移動や削除によって、登録されたミュージックデータベースと合わなくなってくることがあります。指定されたパス設定について、ときどきチェックをかけることをお勧めします。

1. **66ページの要領で「データベース作成の設定」画面を表示します。**

   削除があった場合は「データベースチェック」、移動があった場合は「データベースの構築(チェック含む)」を選びます。

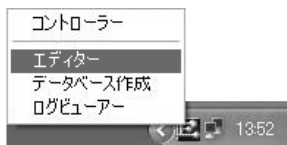
2. **[スタート]ボタンをクリックします。**

   「Playlist」の項目の下に、登録可能なグループとして新しいプレイリストが追加されます。

プレイリストの作成のしかた

プレイリストを作成することによって、自分の好みで選んだ曲のみをグループとして登録し、ベストアルバムのように再生することができます。Editor画面で作成、編集します。

1. **Editor画面を表示します。**

   タスクトレイのアイコンをクリックして「エディター」を選んでください。
   タスクトレイにアイコンがない場合は、Net-Tune® Centralを起動してください。

2. **Editor画面左側のツリーから「○Playlist」をクリックし青色に変えます。**

3. **「○Playlist」を右クリックし、メニューから「新規プレイリストの作成」を選びます。**

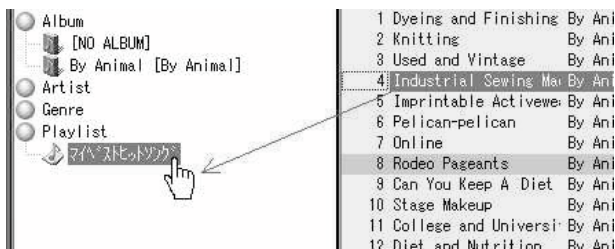
   「新規プレイリストの作成」画面が表示されます。

4. **好みの名前を入力したら[OK]をクリックします。**

5. **プレイリストに登録したい曲を選びます。**

   左側の項目の好きなアイテムを開いて、右側に曲名を表示してください。

6. **選んだ曲をドラッグ・アンド・ドロップしてPlaylistに追加します。**

7. **プレイリストに追加することを確認するダイアログボックスが出ますので、[OK]をクリックします。**

手順5〜7をくり返して好みの曲をプレイリストに追加してください。

NC-500Xをパソコン側から操作する

パソコンからNC-500Xを電源オン/オフしたり、曲を選んで再生、停止、音量などの操作をすることができます。

あらかじめ、NC-500X「イーサネットの設定」の「クライアントの設定」でPCコントロールを「Enable」にしておく必要があります。(→40ページ参照)

1. NC-500Xの電源コードが壁コンセントに接続されているか確認します。

2. Net-Tune® Centralを起動します。

「スタート」→「すべてのプログラム」→「Net-Tune Central」→「ネットチューンセントラル」を選択します。

3 コントローラー画面を表示します。

タスクトレイのアイコンをクリックして「コントローラー」を選んでください。

コントローラーパネルの使い方

前後の曲へスキップします。

再生中に点灯します。

曲を停止します。

現在のリピートモードを表示します。

コントローラーパネルを最小化し、タスクバーのボタンとして表示します。

リピートモードを切り換えます。
クリックするたびにREPEAT OFF → REPEAT ALL → REPEAT-1の順で切り換わります。

コントローラーパネルを終了します

曲の一時停止や再生をします。操作に応じてボタンの絵が❚❚もしくは▶ に変わります。

電源ON/OFFボタン

選択している機器名、選択している曲のアーティスト名や曲名を表示します

音量を表示します。

音量を調整します。

入力を表示します。

入力を切り換えます。

選択中の機器が明るく表示されます。

機器一覧

プレイビュー

「機器一覧・プレイビュー」表示/非表示切り換えボタン
クリックすると、機器一覧とプレイビューが消えて操作部のみの表示になります。
操作部のみが表示された状態でこのボタンをクリックすると、機器一覧とプレイビューが表示されます。

4　操作したいNC-500Xをクリックします。

選択された機器は上部に名前が表示され、操作パネルで色々な操作ができるようになります。

5　電源ボタンをクリックします。

NC-500Xの電源がオンになります。

6　曲を選んで再生します。

再生する曲を選ぶには二つの方法があります。

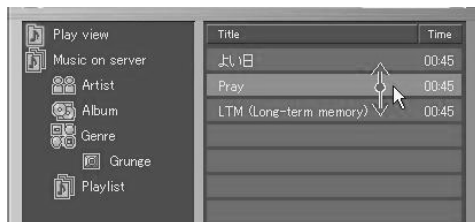
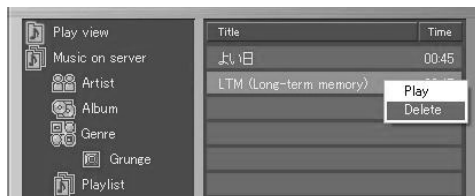
①Net-Tune® Centralのデータベースから選ぶ

左の項目に表示される内容はEditor画面で表示される内容と同じです。演奏したい曲を選んでプレイボタンをクリックします。(ダブルクリック、もしくは右クリックからPlayを選んでもかまいません。)

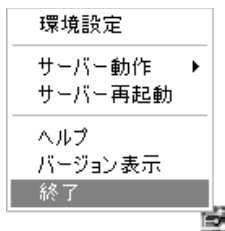
②データベースに登録されていない曲を選ぶ

パソコン上にある曲をNC-500Xの上にドラッグ&ドロップします。
その曲がNC-500Xに登録されるとともに、自動的に再生が始まります。ドロップする前にプレイビューにリストされた曲が存在していた場合には、それらはいったんクリアされます。

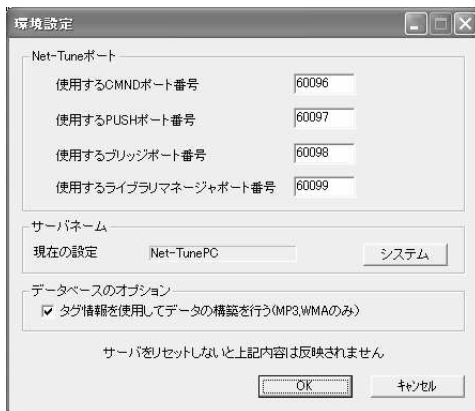
クリアせずに曲を追加したい場合は、プレイビューにドロップしてください。

曲順を変更するには
移動したい曲をドラッグして上下に移動します。

リストから削除するには
削除したい曲のところで右クリックし、「Delete」を選択します。

Net-Tune® Centralを終了する

1　タスクトレイのアイコンを右クリックして「終了」を選んでください。

終了選択時にNC-500Xを接続・再生中の場合は、切断を確認するメッセージが表示されます。
「いいえ」を選択すると、メニューが消えます。「はい」を選択すると、曲の再生が強制的に中断され、Net-Tune® Centralが終了します。

その他のメニュー

タスクトレイのアイコンを右クリックすると出てくるメニューで、環境設定、サーバー動作の停止、サーバー再起動、ヘルプファイルを見る、バージョン情報を見る、などができます。

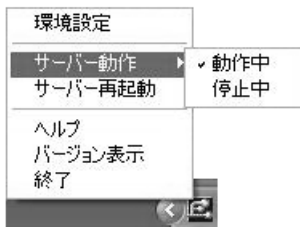
環境設定
Net-Tune® Centralの設定をします。

Net-Tuneポート
Net-Tune® Centralが使用しているポート番号です。基本的に、この値は変更しないでください。お客様のご使用になっているネットワークを用いたPCアプリケーションに関して、アプリケーション間の相性問題の解決が必要な場合に限って変更されるものです。

サーバーネーム
NC-500Xに表示されるパソコンの名前です。NC-500Xは複数のNet-Tune® Centralをインストールしたパソコン(Net-Tune®対応のサーバーも含む)を選択して接続し、再生することができます。そのため、複数のパソコンを区別するために、ウィンドウズPCが管理する「コンピュータ名」を用いています。名前は次の手順で変更することができます。

1. サーバーネームの[システム]をクリックすると、「システムのプロパティ」画面が表示されます。

2. フルコンピュータ名のところに表示されている名前が、環境設定の「サーバネーム」に表示される名前です。[変更]をクリックすると、フルコンピュータ名を変更する画面になります。
3. 名前を入力して[OK]をクリックします。
4. コンピュータを再起動します。
   環境設定画面の「サーバネーム」のところが新しい名前に変わっています。

データベースのオプション
初期設定ではチェックが入っており、曲タイトル、アルバム名をタグ情報から取得します。お好みで編集した曲タイトルやアルバム名(→69ページ参照)を表示させたい場合は、このチェックを外してください。

サーバー動作
必要に応じて、Net-Tune® Centralの音楽配信サーバー機能を停止することができます。音楽配信を停止するときは「サーバー動作」→「停止中」を選びます。再開するときは「サーバー動作」→「動作中」を選びます。

サーバーが動作中の場合は次のようなアイコン表示となります。

サーバーが停止中の場合は次のようなアイコン表示となります。

(赤い×が表示されています。)

サーバー再起動
Net-Tune® Centralを再起動します。動作に不都合があったときなどに終了から開始をワンタッチで行います。

ヘルプ
ヘルプを起動します。

バージョン表示
Net-Tune® Centralのバージョンを見ることができます。

終了
Net-Tune® Centralを終了します。

ログビューアーについて

ログビューアーは、Net-Tune® Centralの動作状態をレポートするアプリケーションソフトです。おもにNC-500Xはじめ、Net-Tune®対応再生機器との通信状態を表示します。

コアモジュール
おもにNet-Tune®対応再生機器との通信状態を表示します。

ライブラリマネージャ
内部データベース(データベースエージェント)との通信状況を表示します。

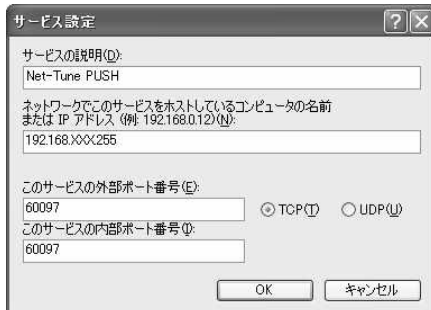
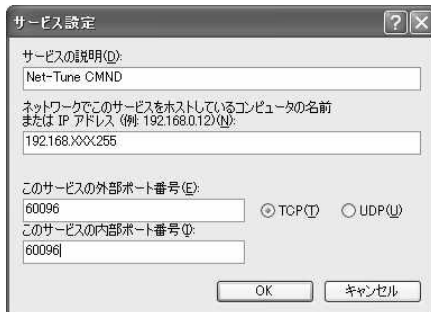
その他

TCP/UDPポートによる通信を可能にするには、下記の方法でも設定できます。

1. 「スタート」→「コントロールパネル」を選択します。
2. 「ネットワークとインターネット接続」をクリックします。
3. 「ネットワーク接続」をクリックします。
4. ローカルエリア接続アイコンを右クリックして、プロパティを選択ます。
5. 「詳細設定」のタブを選択します。
   「インターネット接続ファイアウォール」内のチェックボックスはチェックが入った状態で、右下にある「設定」ボタンをクリックしてください。
6. 右の「詳細設定」ダイアログボックスが表示されます。
7. このダイアログボックスの「サービス」タブをクリックしてください。インターネット接続ファイアウォール機能で許可されている機能の一覧が表示されます。

   Net-Tune®に関する項目はデフォルトでは用意されていませんので、追加する必要があります。ここでのサービスの追加は、Net-Tune CMNDとNet-Tune PUSHとして2つ作成してます。

(Net-Tune CMNDおよびNet-Tune PUSH サービスの追加)

8. 「サービス」タブの下部にある「追加」ボタンを押します。右の「サービス設定」ダイアログボックスが表示されます。
9. 「サービスの説明」に名称を入力します。名称は任意に設定できますが、特に別の名称を設定する必要がなければ、Net-Tune CMNDおよびNet-Tune PUSHとしてください。
10. ルーターで設定されているセグメントを確認して、「ネットワークでこのサービスをホストしているコンピュータの名前またはIPアドレス」に入力します。
    (右図の192.168.xxx.255のxの部分は使用される環境によって異なります。)
11. 「このサービスの外部ポート番号」および「このサービスの内部ポート番号」に同じ値を入力します。
    Net-Tune CMNDとNet-Tune PUSHそれぞれに、Net-Tune® Centralのポート設定で記述されている値(デフォルト値は、Net-Tune CMNDは60096、Net-Tune PUSH は60097です)を入力してください。

12. Net-Tune CMNDとNet-Tune PUSHの2つの項目が追加されてチェックが入っていることを確認したら、「OK」ボタンをクリックします。

13. パソコンを再起動します。

困ったときは

まず下の表で点検してみてください。接続した他機に原因がある場合もありますので、他機の取扱説明書も参照しながらあわせてご確認ください。

電源

参照ページ

電源が入らない

- 電源プラグがコンセントから抜けていないか確認してください。 P24
- 外部ノイズが内部のマイコンに影響している可能性があります。
  一度電源プラグをコンセントから抜き、5秒以上たってから再度コンセントに差し込んでください。 P24

電源が途中で切れる

- アラーム（タイマー）やスリープタイマー設定をしていませんか? これらの設定をしていると、設定した時刻に電源が切れます。 P51～53

音声

音声が出ない

- スピーカーは正しく接続されていますか？しん線は本体の接続端子に接触していますか？ P20
- ピンコードのプラグは奥まで差し込んでください。 P23
- 再生機器は正しく選ばれていますか？入力ソースを、再生している機器にしてください。 P24
- ボリューム設定が小さくなっていないか確認してください。 P24
- 表示部に「Muting」が点灯していませんか。点灯している場合、ミューティング機能が働いていますので、リモコンのMUTINGボタンで解除してください。 P33
- ヘッドホンが接続されているとスピーカーからの音声が出力されません。 P33

音が良くない

- スピーカーコードの+/−が正しく接続されているかご確認ください。 P20
- ピンコードのプラグは奥まで差し込んでください。 P22

ラジオ

放送に雑音が入る/FMステレオ放送の時、サーというノイズが多い
オートチューニングで放送局が呼び出せない（FMのみ）/FM放送で“ST”表示が完全に点灯しない

- アンテナの位置を変えてみてください。 P18、19
- テレビやコンピューターから離してください。
- 近くに自動車が走っていたり飛行機が飛んでいると雑音が入ることがあります。
- 電波がコンクリートの壁等で遮断されていると放送が受信しにくくなります。
- FMモードをモノラルに変更してみてください。 P30
- AM受信時リモコンを操作すると雑音が入る場合があります。
- それでも電波が悪い場合は室外アンテナをおすすめします。 P19

アラーム(タイマー)機能

アラーム（タイマー）機能が働かない

- 現在時刻/日付は設定されていますか？正しい時刻/日付が設定されていないと、アラーム（タイマー）機能は働きません。現在時刻/日付を設定してください。 P26
- ServerやiNetRadioを再生機器として選択した場合、パソコンの電源が入っていない/Net-Tune Centralが起動していないなどの理由で再生できなかったときは、自動的にFMまたはAMラジオが選択されます。 P52
- NC-500Xが電源オンの状態になっているとアラーム（タイマー）は作動しません。スタンバイ状態にしてください。 P52

リモコン	参照ページ
リモコンが働かない	
• 電池の極性（+、−）が、表示通り正しく入っているか確認してください。	P11
• 電池を2本とも新しいものと交換してみてください。（種類の異なる電池の使用や、新しい電池と古い電池の混用はさけてください）	P11
• リモコンと本体の間が離れすぎていませんか？リモコンと本体の間に障害物がありませんか？	P11
• 本体受光部に強い光（インバータ蛍光灯や直射日光）が当たっていませんか？	P11
• オーディオラックのドアに色付きガラスを使っていると、正常に機能しないことがあります。	P11
• リモコンコードは本体とリモコンで異なっていないか確かめてください。電池をしばらく抜いたままにしておくと、リモコンのリモコンコードが初期設定の「3」に戻ってしまいます。そのときは再設定してください。	P55

ネットワーク関連	
インターネットラジオもサーバー機能も使えない	
• ネットワーク接続はされていますか?　ルーターのLAN側ポートと本機の接続、モデムとルーターの接続などを確認してください。	P34、35
• モデムやルーターの電源が入っているか確認してください。	
• ネットワークの設定が正しく行われているか確認してください。	P36〜41
音が途切れる	
• Net-Tune®サーバーとして使用しているパソコンの負荷が増大した、ワードプロセッサーや表計算などの負荷のかかるアプリケーションソフトを動作させている、等の理由が考えられます。 このような場合は、パソコンのメモリーを増やしてください。57ページの「必要なシステム構成」を見て、使用している機器が対応しているか、お確かめください。あるいは、負荷のかかるアプリケーションソフトを終了してください。	
• 同じネットワーク上の負荷が増大している場合があります。パソコンで大きな容量のファイルをダウンロードしたり、コピーしている場合は、再生音が途切れる場合があります。	
インターネットラジオサイトから放送局が取得できない。	
• ラジオサイトが休業中やメンテナンス中などでアクセスできなくなっている可能性があります。時間を置いて再度アクセスしてください。	
サーバーを選択したが再生しない。あるいは、つながっていないようだ。	
• まず、パソコンの電源が入っているかご確認ください。イーサネットポートの緑色のインジケータ（Link）が点灯していれば、接続は確立されています。次に、Net-Tune® Centralが起動しているか確認してください。起動していればタスクトレイにアイコンが現れています。	P13、66
• 音楽ファイルが見つからない場合は再生できません。パソコンにMP3、WMA、WAVE（PCM)フォーマットの音楽ファイルを作り、Net-Tune® Centralでデータベースを作成してください。	P66
• 何らかの理由でネットワークが止まってしまう場合があります。そのような場合は本機をスタンバイ状態にし、再度電源をOnしてください。それでも改善しない場合は、Net-Tune® Centralを再起動する/パソコンを再起動する、などしてみてください。	
• 「Ethernet Settings」の「Net-Tune Port」の設定が、NC-500XとNet-Tune® Centralが起動しているパソコンとで食い違っていないか確認してください。違っている場合は、NC-500Xのポートの設定をパソコンと同じ数字にしてください。	P41、75
アルバムが選択できない。	
• Net-Tune® Centralが起動しているパソコン内にアルバム名の入っている音楽ファイルがないと選択できません。アルバム名をつけてください。	P69
アーティスト名で選択できない。	
• Net-Tune® Centralが起動しているパソコン内にアーティスト名の入っている音楽ファイルがないと選択できません。アーティスト名をつけてください。	P69
ジャンルが選択できない。	
• Net-Tune® Centralが起動しているパソコン内にジャンルの入っている音楽ファイルがないと選択できません。ジャンルをつけてください。	P69
プレイリストが選択できない。	
• Net-Tune® Centralが起動しているパソコン内にプレイリストが入っていないと選択できません。プレイリストを作ってください。	P71
Net-tune® Centralのコントローラーパネルを開いて、大量の曲をドラッグ＆ドロップしたら、エラーが発生した。	
• 登録する曲数が多いと、Net-Tune® Centralの動作が不安定になる可能性があります。Net-Tune® Centralを再起動し、曲を数回に分けて登録しなおしてみてください。	

エラーメッセージ

ソース	エラーメッセージ	メッセージの意味
Server	**No Albums**	ライブラリ検索時、アルバム情報が見つかりませんでした。
Server	**No Artists**	ライブラリ検索時、アーティスト情報がありません。
Server	**No Genres**	ライブラリ検索時、ジャンル情報がありません。
Server	**No Playlists**	ライブラリ検索時、プレイリストがありません。
Server	**No Tracks**	ライブラリ検索時、曲がありません。
Server	**Session Over**	Net-Tune®サーバー使用時、再生数オーバーで接続できませんでした。NC-500Xを4台以上同時に再生できません。
Server	**Unsupported Format**	ライブラリ再生時、未対応の音楽フォーマットを持つ曲が選択された。
Server	**Server Timeout**	Serverからの応答がありません。Net-Tune®サーバーやパソコンの動作を確認してください。
Server	**Server not available**	Net-Tune®サーバー機能が使用できません。IPアドレスにグローバルIPアドレスが設定されている可能性があります。
Server	**Stream Error**	ストリーム再生に異常があります。Net-Tune®サーバーの負荷が増大したか、ネットワークに障害があります。 クライアント接続数やWAVE（PCM）ストリーム配信が多い、またはNet-Tune®サーバー上のアプリケーションソフトの影響等で負荷が増大しました。あるいは、ネットワークの障害でストリームが途絶えました。適切な処置を施してください。
Server	**TrackList Over → [1 of 999]** **AlbumList Over → [1 of 999]** **ArtistList Over → [1 of 999]** **PlaylistList Over → [1 of 999]**	選択したリストに1000以上の曲が入っています。999曲以下でリストを分割して作成すると、全ての曲を聞くことができます。

ソース	エラーメッセージ	メッセージの意味
Server/ Internet Radio	**Playback Denied**	コンテンツ保護されている曲のストリームを再生しようとしました。 ＣＤなどからの音楽リッピング時にコンテンツ保護を解除してください。
Internet Radio	**No Genres**	インターネットラジオ局検索時、ジャンルが取得できませんでした。
Internet Radio	**No Languages**	インターネットラジオ局検索時、言語情報が取得できませんでした。
Internet Radio	**No Location**	インターネットラジオ局検索時、国情報が取得できませんでした。
Internet Radio	**No Sub Genres**	インターネットラジオ局検索時、サブジャンルが取得できませんでした。
Internet Radio	**No Stations**	インターネットラジオ局検索時、ラジオ局が取得できませんでした。
Internet Radio	**Stream Access Err**	選択したインターネットラジオ局のストリームを受信できませんでした。
Internet Radio	**No Stream**	受信したインターネットラジオ局が本機で再生できません。別の局を選択してください。
Internet Radio	**iNet Radio Timeout**	インターネットラジオのデータ受信がタイムアウトになりました。
FM/AM/ Internet Radio	**No Presets**	放送局がプリセットされていません。（FM, AM, iNet Radio）

本機はマイクロコンピューターにより高度な機能を実現していますが、ごくまれに外部からの雑音や妨害ノイズ、また静電気の影響によって誤動作する場合があります。そのようなときは、電源プラグを抜いて、約5秒後に改めて電源プラグを差し込んでください。それでも誤動作が解決しないときは、右記の「マイコンのリセット」を行ってください。ただし、このときすべての設定は工場出荷時に戻りますのでご注意ください。

製品の故障により正常に録音できなかった事によって生じた損害（CDレンタル料等）については保証対象になりません。大事な録音をするときは、あらかじめ正しく録音できる事を確認の上、録音を行なってください。

マイコンのリセットについて

登録した設定などを全て工場出荷時の設定に戻したい時は、電源を入れて30秒以上たってから本体のSTOPボタンを押しながらSTANDBY/ONボタンを押してください。

お客様ご相談窓口

電話でのお問い合わせ：
ナビダイヤル 0570-01-8111
（全国どこからでも市内料金で通話いただけます）
または 072-831-8111（携帯電話、PHS から）

サポート時間：月～金曜日
（土日祝、弊社休日を除く）
9:30 ～ 17:30

FAX でのお問い合わせ：072-831-8124

手紙でのお問い合わせ：
〒 572-8540
大阪府寝屋川市日新町 2 番 1 号
オンキヨー株式会社
カスタマーセンター宛

E-mail でのお問い合わせ：
mmcadmin@onkyo.co.jp

製品に関する最新情報などは：
ホームページアドレス
http://www.onkyo.co.jp/
http://www.wavio.net/
をご参照ください。

主な仕様

アンプ部

定格出力
20 W + 20 W（1 kHz、EIAJ、6 Ω）

全高調波歪率
0.1%（5 W）

SN比
100 dB（Ethernet→SP OUT、6 Ω）
100 dB（AUX→SP OUT、6 Ω）

周波数特性
10 Hz～50 kHz（SP OUT、+1/－3 dB）

オーディオ部

周波数特性
10 Hz～20 kHz/±3 dB（VARIABLE OUT）

一般仕様

Net-Tune対応フォーマット
WAVE（PCM）、MP3、WMA

時計精度
月差 ±30秒（25 °C）

使用電源
AC100V、50/60Hz

消費電力
45 W

待機電力
9.5 W

外形寸法（幅 X 高さ X 奥行）
205 × 91 × 279 mm

質量
4.0 kg

チューナー部

受信範囲
FM: 76.0～90.0 MHz（100 kHz ステップ）
AM: 522～1,629 kHz（9 kHz ステップ）

実用感度
FM: モノラル 11.2 dBf、1.0 µV（75 Ω）
ステレオ 17.2 dBf、2.0 µV（75 Ω）
AM: 30 µV

キャプチャレシオ
FM: 2.0 dB

イメージ妨害比
FM: 40 dB
AM: 40 dB

IF妨害比
FM: 90 dB
AM: 40 dB

SN比
FM: モノラル 73 dB
ステレオ 67 dB
AM: 40 dB

2信号選択度
50 dB

AM抑圧比
50 dB

ひずみ率（1 kHz）
FM: モノラル0.2%
ステレオ0.3%
AM: 0.7 %

周波数特性
FM: 30～15,000 Hz（±1.5 dB）

ステレオセパレーション
FM: 45 dB（1,000 Hz）
30 dB（100～10,000 Hz）

ミューティングレベル
FM: 17.2 dBf、2.0 µV（75 Ω）

仕様および外観は性能改善のため予告なく変更することがあります。

修理について

■ 保証書

この製品には保証書を別途添付していますので、お買い上げの際にお受け取りください。
所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。
保証期間は、お買い上げ日より1 年間です。

■ 調子が悪いときは

意外な操作ミスが故障と思われています。
この取扱説明書をもう一度よくお読みいただき、お調べください。本機以外の原因も考えられます。ご使用の他のオーディオ製品もあわせてお調べください。それでもなお異常のあるときは、電源プラグを抜いて修理を依頼してください。

修理を依頼されるときは、下の事項をお買い上げの販売店、または付属の「オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内」記載のお近くのオンキヨー修理窓口までお知らせください。

- ▶ お名前
- ▶ お電話番号
- ▶ ご住所
- ▶ 製品名　NC-500X
- ▶ できるだけ詳しい故障状況

■ オンキヨー修理窓口について

詳細は付属の「オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

■ 保証期間中の修理は

万一、故障や異常が生じたときは、商品と保証書をご持参ご提示のうえ、お買い上げの販売店またはお近くのオンキヨー修理窓口へご相談ください。詳細は保証書をご覧ください。

■ 保証期間経過後の修理は

お買い上げ店、またはお近くのオンキヨー修理窓口へご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理致します。

■ 補修用性能部品の保有期間について

本機の補修用性能部品は、製造打ち切り後最低8年間保有しています。この期間は経済産業省の指導によるものです。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。保有期間経過後でも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますのでお買い上げ店、またはお近くのオンキヨー修理窓口へご相談ください。

ご購入されたときにご記入ください。
サービスを依頼されるときなどに、お役に立ちます。

ご購入年月日：　　　年　　月　　日

ご購入店名：

Tel.　　　（　　）

メモ：

ONKYO®

オンキヨー株式会社

本社　大阪府寝屋川市日新町2-1　〒572-8540

ONKYO HOMEPAGE
http://www.onkyo.co.jp/

製品のご使用方法についてのお問い合わせ先：カスタマーセンター

ナビダイヤル　☎0570(01)8111（全国どこからでも市内通話料金で通話いただけます）

または　☎072(831)8111（携帯電話、PHSから）

SN 29343609

Printed in Japan
D0309-1